

2017 年秋季年会

# 年会プログラム

於 北海道大学

2017 年 9 月 11 日 (月) ~ 9 月 13 日 (水)

日本天文学会

# 日本天文学会 2017 年秋季年会プログラム

期 日 2017年9月11日(月)～9月13日(水)

場 所 北海道大学札幌キャンパス(北海道札幌市)

電 話 090-4387-6893 <使用期間 2017年9月10日(月)～9月13日(水)>

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19									
9月10日 (日)							公開講演会														
							記者会見														
9月11日 (月)	A	受付		V1. 観測機器	昼休み	ポスター		V1. 観測機器	理事会												
	B			T. 銀河団				T. 銀河団/R. 銀河													
	C			W2. コンパクト天体				W1. コンパクト天体													
	D			N. 恒星				N. 恒星													
	E			M. 太陽				M. 太陽													
	F			P1. 星・惑星				P1. 星・惑星													
	G			Q. 星間現象				Q. 星間現象													
	H			V2. 観測機器				V2. 観測機器													
	I			V3. 観測機器				V3. 観測機器													
	J			X. 銀河形成				X. 銀河形成													
	K			U. 宇宙論				U. 宇宙論													
9月12日 (火)	A	受付	昼休み (代議員総会)	V1. 観測機器	VI. 観測機器/Y. 教育・他	R. 銀河	W1. コンパクト天体	S. 活動銀河核	P1. 星・惑星	Q. 星間現象	V2. 観測機器	V3. 観測機器/M. 太陽	X. 銀河形成	K. 超新星爆発	L. 太陽系	天文教育フォーラム	P2. 星・惑星	S. 活動銀河核	X. 銀河形成	会員 全体集会	懇親会
	B			R. 銀河																	
	C			W1. コンパクト天体																	
	D			N. 恒星/P 2. 星・惑星																	
	E			S. 活動銀河核																	
	F			P1. 星・惑星																	
	G			Q. 星間現象																	
	H			V2. 観測機器																	
	I			V3. 観測機器																	
	J			X. 銀河形成																	
	K			L. 太陽系																	
9月13日 (水)	A	受付	昼休み	Y. 教育・他	ポスター																
	B			R. 銀河																	
	C			W1. コンパクト天体																	
	D			P2. 星・惑星																	
	E			S. 活動銀河核																	
	F			P1. 星・惑星																	
	G																				
	H			V2. 観測機器																	
	I			M. 太陽																	
	J			X. 銀河形成																	
	K			K. 超新星爆発																	

- A会場 : 高等教育推進機構 E棟 2F
- B会場 : 高等教育推進機構 E棟 2F
- C会場 : 高等教育推進機構 E棟 2F
- D会場 : 高等教育推進機構 E棟 3F
- E会場 : 高等教育推進機構 E棟 3F
- F会場 : 高等教育推進機構 E棟 3F
- G会場 : 高等教育推進機構 E棟 3F

- H会場 : 高等教育推進機構 N棟 3F
- I会場 : 高等教育推進機構 N棟 3F
- J会場 : 高等教育推進機構 大講堂
- K会場 : 高等教育推進機構 E棟 3F
- 受付 : 高等教育推進機構 E棟 1F
- ポスター会場 : 高等教育推進機構 E棟 2/3F
- 展示コーナー : 高等教育推進機構 大講堂前
- 懇親会 : キリンビール園本館中島公園店

## ◎講演数

講演数：合計 709

(口頭講演 (a)：504、ポスター講演 (b)：166、ポスター講演 (c)：39)

## ◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

2011年秋季年会より、講演登録費は、講演申込時にお支払いいただく事になっています。

2016年秋季年会より、通常セッションにおける講演は会員に限られています。

## ○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
	(但し講演ありの場合、参加費は無料)	
講演登録費	3,000 円 (不課税) (1 講演につき)	
	(但し事前支払がない場合は、会員 4,000 円)	
年会予稿集	2,000 円 (消費税込み)	2,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

## ○参加登録受付場所：受付

○参加登録受付時間：9月11日 09：30～16：00

9月12日 09：00～16：00

9月13日 09：00～13：30

※参加費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、再発行はできませんので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費の返金はいたしません。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

## ◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 11 会場で並行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、9月11日の 13：30 から 9月13日の 13：30 までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦 180 cm×横 90 cm です。
3. 講演には液晶プロジェクターをご使用ください。液晶プロジェクターは、セッション開始前に PC の接続を確認してください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中に PC を接続しておいてください。

## ◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
9月10日 (日)	13:00～16:00	学術交流会館	公開講演会
	14:00～16:30		記者会見
9月12日 (火)	15:30～16:30	J会場	会員全体集会
	18:30～20:30	キリンビール園本館中島公園店	懇親会
9月13日 (水)	13:30～15:00	A会場	天文教育フォーラム

## ◎会合一覧表

月 日	時 間	会 場	会 合 名	参加可否 <sup>※</sup>
9月11日 (月)	12:30～13:30	A会場	SKA-Japan 会合	A
	12:30～13:30	C会場	太陽研究者連絡会・報告会	C
	12:30～13:30	K会場	男女共同参画委員会 + 女性天文学研究者の会 ランチミーティング	B
	17:00～19:00	会議室	理事会	D
9月12日 (火)	11:30～12:30	A会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
	11:30～12:30	B会場	代議員総会	D
	11:30～12:30	C会場	宇宙電波懇談会総会	C
	11:30～12:30	D会場	太陽研究者連絡会・運営委員会	D
9月13日 (水)	11:30～12:30	A会場	光学赤外線天文連絡会総会	C
	11:30～12:30	D会場	高エネルギー宇宙物理連絡会報告会	B
	11:30～12:30	J会場	天文・天体物理若手の会総会	C

※年会参加者の参加可否の説明（オープン化の程度）

- A: 年会参加者なら誰でも大歓迎で是非来てほしい
- B: 年会参加者で興味を持った人には広く門戸を開いている
- C: 関係グループ向けの会合だが年会参加者なら特に拒みはしない
- D: 関係者のみにクローズした会合で非公開である

## ◎日本天文学会公開講演会

日 時 : 2017年9月10日(日) 13:00~16:00(予定)(開場 12:30)

場 所 : 北海道大学 学術交流会館大講堂(札幌駅北口から徒歩約7分)

対 象 : 中学生以上・一般向け

テ ー マ : 「南極で探る宇宙」

南極の厳しい自然条件を生かして宇宙を探る研究が盛んに行われています。今回の公開講演会では、そのような研究の中から、北海道大学との関わりの深い、二つの最新の研究内容をわかりやすく紹介して頂きます。

講師・タイトル: 下記をご参照ください。

参加費 : 無料(事前申し込み不要)

定 員 : 310名(先着順)

### <講演内容の紹介>

講演1: 「南極アイスコアからひもとく私たちの宇宙と地球の歴史」

講師: 望月 優子(理化学研究所 研究ユニットリーダー/埼玉大学大学院連携教授)

南極大陸にある日本の「ドームふじ基地」で掘削されるアイスコア(円柱状の氷の試料)には、過去の地球の気候変動や宇宙からの情報が保存されています。過去の太陽活動、過去の地球の気候変動と太陽活動との関係、また私たちの天の川銀河で過去に起きた、星の生涯の最後に起こる超新星爆発の候補となるシグナルなど、ドームふじのアイスコアに刻まれた宇宙と地球の歴史をひもといて、私たちと宇宙とのつながりについて一緒に考えます。

講演2: 「南極望遠鏡でさぐる銀河の謎」

講師: 中井 直正(筑波大学教授)

極寒の地である南極内陸部の高原地帯では大気に含まれる水蒸気が大変少なく、波長の非常に短い電波(テラヘルツ波)を地上から観測できる最適地です。このテラヘルツ波を使って、可視光では見えない「暗黒銀河」を観測できることがわかってきました。この銀河は、地球から非常に遠くにあり、宇宙の初期に形成された銀河が現在まで進化する過程で大量の星を形成している時期の銀河と考えられます。講演では、南極にテラヘルツ波を観測できる電波望遠鏡を建設して暗黒銀河の観測を系統的に進め、原始銀河を探る計画についてお話しします。

プログラム、アクセスにつきましては開催地大学HPをご覧ください。

主 催 : 公益社団法人 日本天文学会

後 援 : 北海道新聞社

企 画 : 北海道大学大学院理学研究院物理学部門宇宙物理学研究室

## ◎天文教育フォーラム: 「天体観測のプロ・アマ連携: 新しい展開」

日 時 : 2017年9月13日(水) 13:30~15:00

場 所 : A会場

概 要 : 近年、地上観測や探査機による膨大な観測データが次々に公開され、誰もがそのデータを閲覧したり、利用することができるようになりました。さらに、一般市民が公開天文台に設置されたハイスpekの望遠鏡を用いての観測も可能になり、こういった点でもプロとアマチュアによる共同観測を進めていく基盤が整ってきました。そして、天文学の研究においても、市民との協働が進み、アマチュア観測者による継続観測のデータを活かし、最新の観測データの共有と解析の共同作業という新しい形の連携が必要となってきました。

そこで今回の天文教育フォーラムでは、これまでの天体観測のプロ・アマ連携の現状を振り返りつつ、プロの立場から、アマチュア観測者に期待するプロの観測を補完する質の良い観測とはどのようなものか、アマチュアの立場からプロのデータを使ってみて思うこと、公開天文台がプロ・アマ連携の基盤づくりにもどのように関わられるのか、といったことをそれぞれの立場からお話いただき、よりよい「プロ・アマ連携」を目指すための方策を、会場参加者とともに議論していきたいと思えます。

話題提供(敬称略):

高橋 幸弘(北海道大学)「金星探査機あかつきと地上望遠鏡で臨む金星大気の謎」

内藤 博之(名寄天文台)「公開天文台におけるプロ・アマ連携」

田部 一志(月惑星研究会)「木星観測におけるプロ・アマ連携 ~アマチュアによる画像の活かし方」

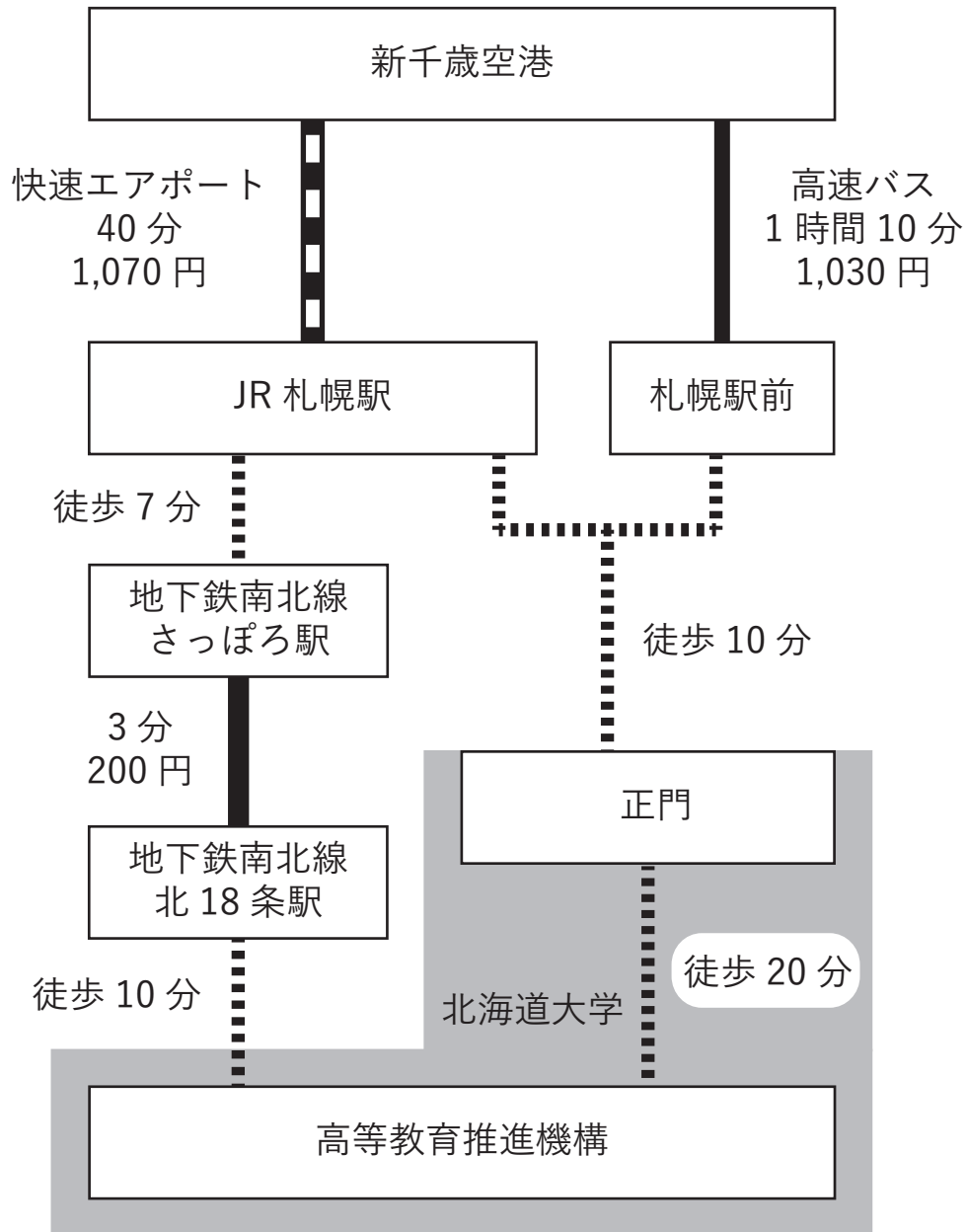
費 用 : 天文教育フォーラムのみの参加費は不要です。天文学会年会受付で、その旨お伝えください。

実行委員 : 木村かおる(科学技術館)、富田晃彦(和歌山大学)、石井貴子(京都大学)、鷹野重之(九州産業大学)、内藤博之(名寄天文台)

主 催 : 天文教育委員会

共 催 : 天文教育普及研究会

## 北海道大学へのアクセス



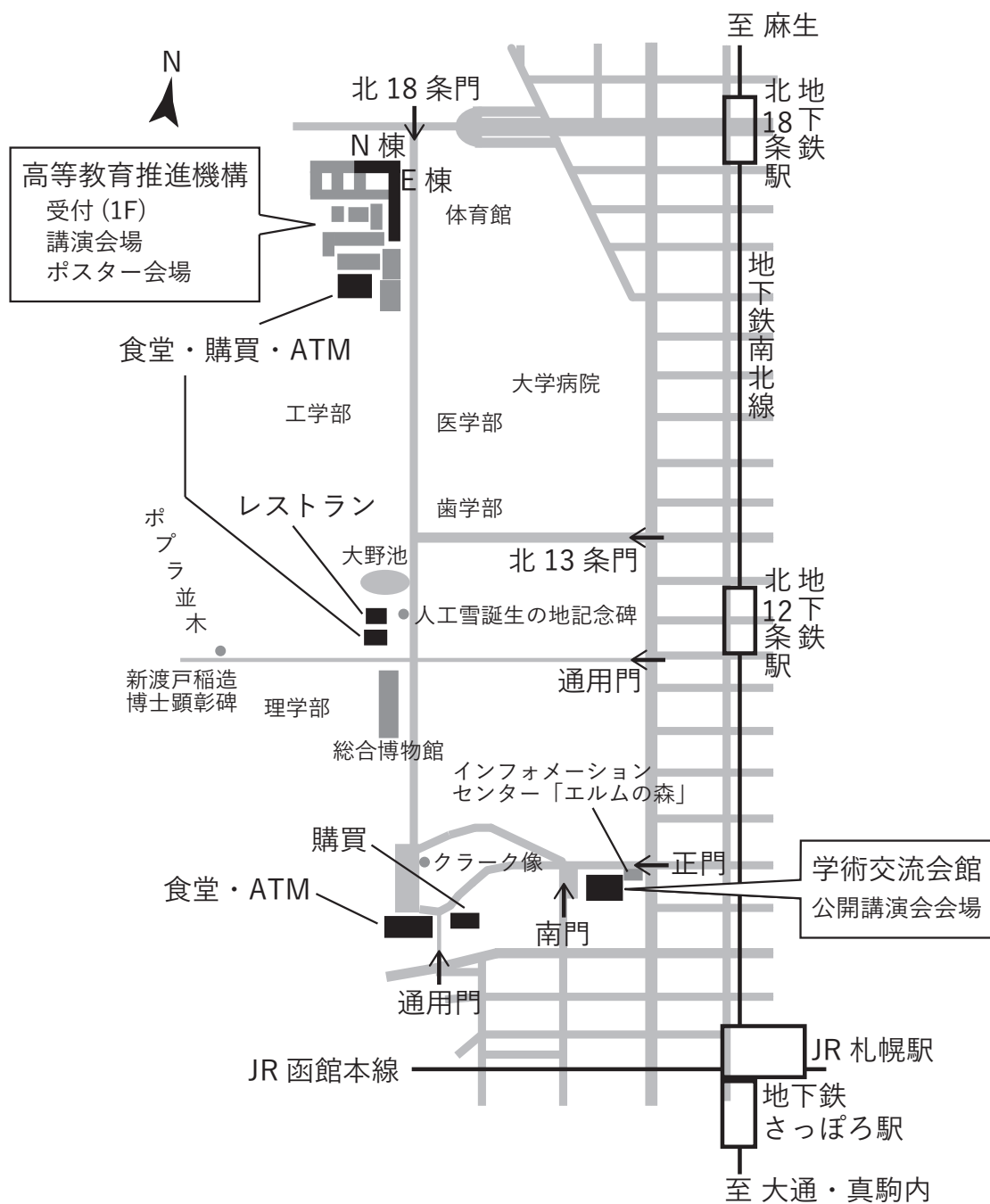
懇親会会場（麒麟ビール園）までのアクセス

- ・地下鉄南北線北18条から中島公園駅まで8分 250円
- ・中島公園駅1番出口より徒歩2分

学術交流会館までのアクセス

- ・JR札幌駅から徒歩10分（正門を入れてすぐ）

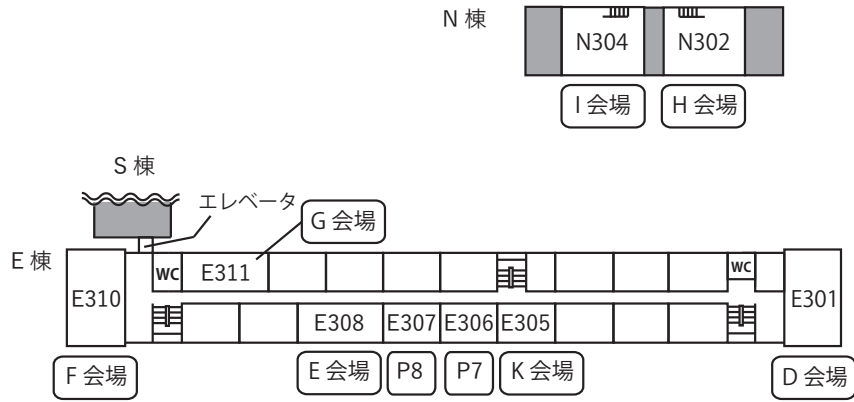
## 北海道大学 札幌キャンパス



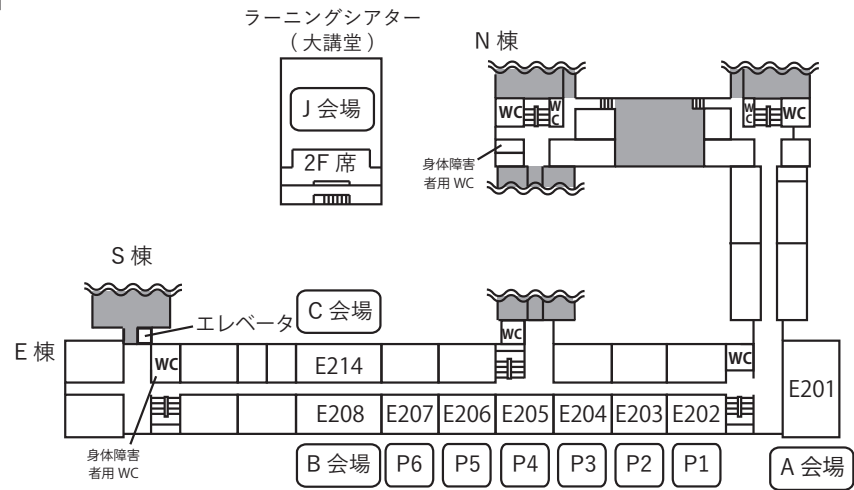
- ・車，オートバイ等での入構はできません。
- ・正門から高等教育推進機構まで徒歩で20分程度です。
- ・キャンパス内は指定場所以外は禁煙となっております。
- ・無線LANはeduroamをご利用いただきます。
- ・無線LANは高等教育推進機構内の各会場とその周辺でご利用いただけます。

# 会場案内図

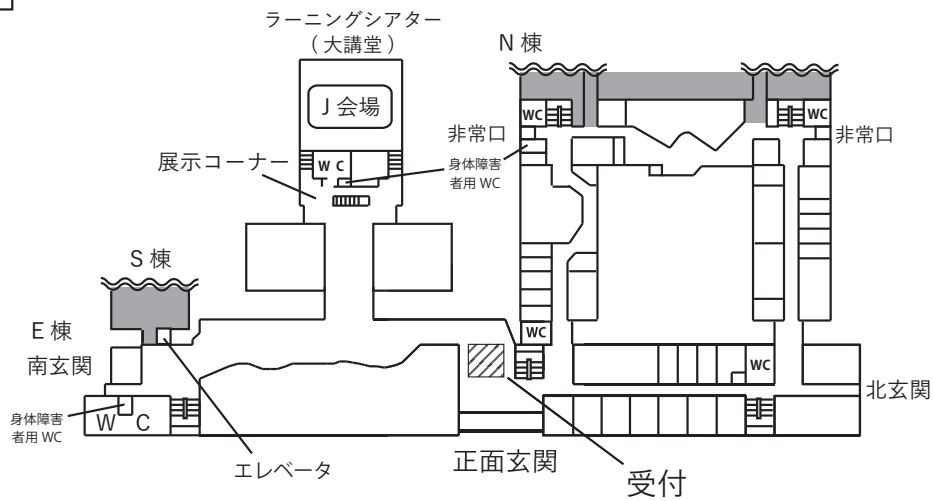
3F



2F



1F



色付き・・・立入禁止区域  
P・・・ポスター会場



## 口頭セッション 9月11日(月)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	K会場
開始時刻	【観測機器】	【銀河団】	【コンパクト天体】	【恒星】	【太陽】	【星・惑星】	【星間現象】	【観測機器】	【観測機器】	【銀河形成】	【宇宙論】
10:30	V101a	T01a	W201a	N01a	M01a	P101a	Q01a	V201a	V301a	X01a	U01a
10:42	V102b V103b V104b	T02a	W202a	N02a	M02a	P102a	Q02a	V202a	V302a	X02a	U02a
10:54	V105a	T03a	W203a	N03a	M03a	P103a	Q03a	V203b V204b V205b	V303a	X03a	U03a
11:06	V106a	T04a	W204a	N04a	M04a	P104a	Q04a	V206a	V304a	X04a	U04a
11:18	V107a	T05a	W205a	N05a	M05a	P105a	Q05a	V207b V208b V209b	V305a	X05a	U05a
11:30	V108a	T06a	W206a	N06a	M06a	P106a	Q06a	V210a	V306a	X06a	U06a
11:42	V109a	T07a	W207a	N07a	M07a	P107a	Q07a	V211a	V307b V308b V309b	X07b X08b X09b	U07a
11:54	V110a	T08a	W208a	N08a	M08a	P108a	Q08a	V213b V214b V215b	V310a	X10a	U08a
12:06	V111a	T09a	W114b	N09a	M09b M10b M11b	P109a	Q09a	V216a	V312a	X11a	U11a
12:18	V112b V113b V114b	T10a	-	N10b N11b N13b	M12b M13b M14b	P110b P111b P112b	Q10a	V217a	V313b V314b V315b	X12a	U12b U14b U15b
12:30	-	-	-	-	M15b M17b M18b	P113b P114b P115b	Q11a	-	-	-	-
12:42	-	-	-	-	-	P116b P117b P118b	Q12b Q13b Q14b	-	-	-	-
12:54	-	-	-	-	-	-	Q15b	-	-	-	-
12:30	昼休み										
13:30	ポスター										
開始時刻	【観測機器】	【銀河団/ 銀河】	【コンパクト天体】	【恒星】	【太陽】	【星・惑星】	【星間現象】	【観測機器】	【観測機器】	【銀河形成】	【宇宙論】
14:30	V116a	T11a	W101a	N16a	M19a	P119a	Q16a	V218a	V316a	X13a	U17a
14:42	V117a	T12a	W102a	N17a	M20a	P120a	Q17a	V219b V220b V221b	V317a	X14b X15b X16b	U18a
14:54	V118a	T13a	W103a	N18a	M21a	P121a	Q18a	V222a	V318b V319b V320b	X17a	U19a
15:06	V119a	T14a	W104a	N19a	M22a	P122a	Q19a	V223a	V322a	X18a	U20a
15:18	V120a	T15a	W105a	N20a	M23a	P123a	Q20a	V224b V226b V227b	V323a	X19a	U21a
15:30	V121b V122b V123b	T16a	W106a	N21a	M24a	P124b P125b P126b	Q21a	V228a	V324a	X20a	U22a
15:42	V124a	T17b	W107a	N22a	M25a	P127b P128b P129b	Q22a	V229b V230b V232b	V325a	X21a	U23a
15:54	V125a	R01a	W108a	N23a	M26a	P130a	Q23a	V233b V234b V235b	V326a	X22a	U24a
16:06	V126a	R02a	W109a	N24a	M27a	P131a	Q24a	V237a	V327b V328b V329b	X23a	U25a
16:18	V127b V129b V130b	-	W110a	N25a	M28a	P132a	Q25a	V238b	V330a	X24a	U26a
16:30	V131a	-	W111b W112b W113b	-	M29a	P133a	Q26a	-	-	-	-
16:42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17:00	理事会										

## 口頭セッション 9月12日(火)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	K会場
開始時刻	【観測機器】	【銀河】	【コンパクト天体】	【恒星/星・惑星】	【活動銀河核】	【星・惑星】	【星間現象】	【観測機器】	【観測機器】	【銀河形成】	【太陽系】
09:30	V132a	R05a	W118a	N26a	S01a	P134a	Q28a	V239a	V331a	X25a	L01a
09:42	V133a	R06a	W119a	N27a	S02a	P135a	Q29a	V240a	V332a	X26a	L02a
09:54	V134a	R07a	W120a	N28a	S03a	P136a	Q30a	V241a	V333a	X27a	L03a
10:06	V135a	R08b R09b R10b	W121a	N29a	S04a	P137a	Q31a	V242a	V334a	X28a	L04a
10:18	V136b V137b V138b	R11a	W122a	N30a	S05a	P138a	Q32a	V243a	V335a	X29a	L05a
10:30	V139a	R12a	W123a	P201a	S06a	P139a	Q33a	V244b V245b V246b	V336a	X30a	L06b L07b L08b
10:42	V140a	R13a	W124a	P202a	S07a	P140a	Q34a	V247a	V337a	X31a	L10a
10:54	V141a	R14a	W125a	P203a	S08a	P141a	Q35a	V248a	V338a	X32a	L11a
11:06	V142a	R16b R17b R18b	W126a	P204b P205b P206b	S09a	P142b P144b P145b	Q36a	V249b V250b V251b	V339a	X33b X34b X35b	-
11:18	V143b	R20a	W127a	P208b P209b P210b	S10a	P146b P147b P148b	Q37a	V254b V255b V256b	V340b V341b V342b	X36b X37b X38b	-
11:30	昼休み(代議員総会)(B会場)										
開始時刻	【観測機器/教育・他】	【銀河】	【コンパクト天体】	【星・惑星】	【活動銀河核】	【星・惑星】	【星間現象】	【観測機器】	【観測機器/太陽】	【銀河形成】	【超新星爆発】
13:00	V144a	R22a	W128a	P211a	S11b S12b S13b	P149a	Q38a	V257a	V343a	X39a	K01a
13:12	V145a	R23a	W129a	P212a	S14b S15b S16b	P150a	Q39a	V258a	V344a	X40a	K03a
13:24	V146a	R24a	W130a	P213b P214b P215b	S18a	P151a	Q40a	V259a	V345a	X41a	K04a
13:36	Y01a	R25a	W131a	P216a	S19a	P152a	Q41a	V260a	V346a	X42a	K05a
13:48	Y02a	R27a	W132a	P217b P218b P219b	S20a	P153a	Q42a	V261a	M30a	X43a	K06a
14:00	Y03a	R28a	W133a	P220a	S21a	P154a	Q43a	V262a	M31a	X44a	K07a
14:12	Y04a	R29a	W134a	P221a	S22a	P155a	Q44a	V263a	M32a	X45a	K08a
14:24	Y05b Y06b Y07b	R30a	W135a	P222a	S23a	P156a	Q45a	V264a	M33a	X46b X47b X48b	K09a
14:36	Y08b Y09b Y10b	R31a	W136a	P223a	S24a	P157a	Q46a	V265a	M34a	X49b X50b X51b	K10a
14:48	Y11b Y12b Y13b	R32a	-	P224b P225b P226b	S25a	P158a	Q47a	V266a	M35a	X52a	K11a
15:00	-	R33a	-	-	S26a	-	Q48a	-	M36a	-	K12b K13b
15:30	会員全体集会(J会場)										

## 口頭セッション 9月13日(水)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	K会場
開始時刻	【教育・他】	【銀河】	【コンパクト天体】	【星・惑星】	【活動銀河核】	【星・惑星】		【観測機器】	【太陽】	【銀河形成】	【超新星爆発】
9:30	Y18a	R34a	W137a	P228a	S27a	P159a		V267a	M37a	X53a	K14a
9:42	Y19a	R35a	W138a	P229a	S28a	P160a		V268a	M38a	X54a	K15a
9:54	Y20a	R36a	W139a	P230a	S29a	P161a		V269a	M39a	X55a	K16a
10:06	Y21a	R37a	W140a	P231a	S30a	P162a		V270a	M40a	X56a	K17a
10:18	Y22a	R38a	W141a	P232a	S31a	P163a		V271a	M41a	X57a	K18a
10:30	Y23a	R39a	W142a	P233a	S32a	P164a		-	M42a	X58a	K19a
10:42	Y24a	R41a	W143a	P234a	S33a	P165a		-	M43a	X59a	K20a
10:54	-	R42a	W144a	P235a	S34a	P166a		-	M44a	X60a	K21a
11:06	-	R43a	W145a	P236a	S35a	-		-	M45a	X61a	K22a
11:18	-	R44a	-	P237a	-	-		-	M46a	X62a	K23a
11:30	-	-	-	-	-	-		-	M47a	-	K24a
11:42	-	-	-	-	-	-		-	M48a	-	-
11:54	-	-	-	-	-	-		-	M49a	-	-
11:30	昼休み										
12:30	ポスター										
開始時刻				【星・惑星】	【活動銀河核】					【銀河形成】	
13:30	天文教育フォーラム			P238a	S36a					X63a	
13:42				P239a	S37a					X64a	
13:54				P240a	S38a					X65a	
14:06				P241a	S39a					X66a	
14:18				P242a	S40a					X67a	
14:30				P243a	-					-	
14:42				P244a	-					-	
14:54				P245a	-					-	
15:06				P246a	-					-	
15:18				P247a	-					-	

ポスターセッション 9月11日(月) ・ 9月13日(水)

<p>【K. 超新星爆発】(3)</p> <p>K02c    K12b    K13b</p>	<p>【R. 銀河】(13)</p> <p>R03c    R04c    R08b    R09b    R10b</p> <p>R15c    R16b    R17b    R18b    R19c</p> <p>R21c    R26c    R40c</p>
<p>【L. 太陽系】(4)</p> <p>L06b    L07b    L08b    L09c</p>	<p>【S. 銀河核】(7)</p> <p>S11b    S12b    S13b    S14b    S15b</p> <p>S16b    S17c</p>
<p>【M. 太陽】(10)</p> <p>M09b    M10b    M11b    M12b    M13b</p> <p>M14b    M15b    M16c    M17b    M18b</p>	<p>【T. 銀河団】(1)</p> <p>T17b</p>
<p>【N. 恒星】(6)</p> <p>N10b    N11b    N12c    N13b    N14c</p> <p>N15c</p>	<p>【U. 宇宙論】(7)</p> <p>U09c    U10c    U12b    U13c    U14b</p> <p>U15b    U16c</p>
<p>【P1. 星・惑星】(22)</p> <p>P110b    P111b    P112b    P113b    P114b</p> <p>P115b    P116b    P117b    P118b    P124b</p> <p>P125b    P126b    P127b    P128b    P129b</p> <p>P142b    P143c    P144b    P145b    P146b</p> <p>P147b    P148b</p>	<p>【V1. 観測機器】(18)</p> <p>V102b    V103b    V104b    V112b    V113b</p> <p>V114b    V115c    V121b    V122b    V123b</p> <p>V127b    V128c    V129b    V130b    V136b</p> <p>V137b    V138b    V143b</p>
<p>【P2. 星・惑星】(17)</p> <p>P204b    P205b    P206b    P207c    P208b</p> <p>P209b    P210b    P213b    P214b    P215b</p> <p>P217b    P218b    P219b    P224b    P225b</p> <p>P226b    P227c</p>	<p>【V2. 観測機器】(37)</p> <p>V203b    V204b    V205b    V207b    V208b</p> <p>V209b    V212c    V213b    V214b    V215b</p> <p>V219b    V220b    V221b    V224b    V225c</p> <p>V226b    V227b    V229b    V230b    V231c</p> <p>V232b    V233b    V234b    V235b    V236c</p>
<p>【Q. 星間現象】(5)</p> <p>Q12b    Q13b    Q14b    Q15b    Q27c</p>	

ポスターセッション 9月11日(月) ・ 9月13日(水)

V238b V244b V245b V246b V249b  
 V250b V251b V252c V253c V254b  
 V255b V256b

【V3. 観測機器】(17)

V307b V308b V309b V311c V313b  
 V314b V315b V318b V319b V320b  
 V321c V327b V328b V329b V340b  
 V341b V342b

【W1. コンパクト天体】(7)

W111b W112b W113b W114b W115c  
 W116c W117c

【X. 銀河形成】(18)

X07b X08b X09b X14b X15b  
 X16b X33b X34b X35b X36b  
 X37b X38b X46b X47b X48b  
 X49b X50b X51b

【Y. 教育・他】(13)

Y05b Y06b Y07b Y08b Y09b  
 Y10b Y11b Y12b Y13b Y14c  
 Y15c Y16c Y17c

## K. 超新星爆発

9月12日(火) 午後・K会場		9月13日(水) 午前・K会場	
13:00	K01a 重力崩壊型超新星の3次元長時間計算に向けて 中村航(福岡大学)	09:30	K14a 炭素燃焼過程における共鳴がIa型超新星に及ぼす影響 森寛治(東京大学)
	K02c 回転する重力崩壊型超新星の系統的解析 坪根達之(福岡大学)	09:42	K15a Properties of An Early-Phase Type Ia Supernova Found by The MUSSES Project Ji-an Jiang(The University of Tokyo)
13:12	K03a ボルツマン輻射輸送計算による回転星の超新星爆発 原田了(東京大学)	09:54	K16a 重力崩壊型超新星の爆発エネルギーの成長時間と元素合成の相関性 澤田涼(京都大学)
13:24	K04a 原子核状態方程式が超新星からのニュートリノ放出に与える影響 中里健一郎(九州大学)	10:06	K17a 大質量星連星における超新星爆発は金属欠乏星のリチウム減少を説明できるか? 須田拓馬(東京大学)
13:36	K05a 重力崩壊型超新星に用いられる親星モデルの爆発優位性の解析 山本佑(早稲田大学)	10:18	K18a failed supernovae の銀河の化学進化への影響 鈴木昭宏(京都大学)
13:48	K06a Pair-instability supernova から放出されるニュートリノの観測可能性 藤本空(東京大学)	10:30	K19a Failed Supernova におけるニュートリノ振動 財前真理(東京大学)
14:00	K07a 重力波の円偏角観測によって探る超新星爆発の物理 端山和大(東京大学)	10:42	K20a Radio Emission from Embryonic Super-Luminous Supernova Remnants Conor Omand(The University of Tokyo)
14:12	K08a 恒星風加速の超新星への影響 守屋堯(国立天文台)	10:54	K21a 超新星残骸 RX J1713.7-3946 からの熱的X線放射の発見 勝田哲(中央大学)
14:24	K09a IIP型超新星の星周ダストが作る偏光 長尾崇史(京都大学)	11:06	K22a X線観測によるケプラーの超新星残骸の明るい塊構造の三次元速度測定 佐藤寿紀(首都大学東京/宇宙航空研究開発機構)
14:36	K10a 強い重力レンズを用いた超新星予報 諏訪雄大(京都大学)	11:18	K23a iPTF13bvn の親星系に存在するブラックホールの起源について 平井遼介(早稲田大学)
14:48	K11a すばるHSCデータを使用した機械学習による超新星タイプ分類 高橋一郎(東京大学)	11:30	K24a 白色矮星と中性子星の合体に伴う突発天体现象に関する研究 谷川衝(東京大学)
15:00	K12b すばるHSCを用いて発見した母銀河のない超新星の候補 山口正輝(東京大学)		
15:00	K13b 低光度IIP型超新星SN 2016bkvにおける星周物質 中岡竜也(広島大学)		

## L. 太陽系

## M. 太陽

9月12日(火) 午前・K会場		9月11日(月) 午前・E会場	
09:30	L01a 「あかり」遠赤外線全天画像に見られる形成途中の小惑星ダストバンド 大坪貴文(宇宙航空研究開発機構)	10:30	M01a SUNRISE-3 気球実験: 近赤外線偏光分光装置 SCIP の進捗 久保雅仁(国立天文台)
09:42	L02a 17P/Holmes 彗星の中間赤外線分光観測による鉱物組成比 新中善晴(国立天文台)	10:42	M02a Mg II k 線でのハンレ・ゼーマン効果を用いた磁場導出手法の検討 石川遼子(国立天文台)
09:54	L03a 近日点通過前後の C/2007 N3(Lulin) 彗星の化学組成比変化 小林仁美(LLP 京都虹光房/京都産業大学)	10:54	M03a 太陽 X 線観測ロケット実験 FOXSI-3 の準備状況 石川真之介(宇宙航空研究開発機構)
10:06	L04a OASES 広視野動画同時観測が切り拓く太陽系の新たな地平 有松亘(国立天文台)	11:06	M04a 軟 X 線撮像分光観測によるコロナループの加熱・冷却過程の診断 川手朋子(宇宙航空研究開発機構)
10:18	L05a 木曾超広視野高速 CMOS カメラ Tomo-e Gozen 試験機による微光流星観測 大澤亮(東京大学)	11:18	M05a 磁気リコネクションとそれに伴う粒子加速過程を明らかにするミッション — Physics Of Energetic and Non-thermal plasma In X region (PHOENIX) — の紹介 成影典之(国立天文台)
10:30	L06b 望遠鏡による微光流星観測効率の計算 大澤亮(東京大学)	11:30	M06a 高感度紫外線撮像分光装置 EUVST が目指すサイエンス検討 今田晋亮(名古屋大学)
10:30	L07b C/2015 V2(Johnson) 彗星のガス輝線の空間構造の Abel 変換による解析 長谷川隆(群馬県立ぐんま天文台)	11:42	M07a 次期太陽観測衛星計画に関する NGSPM-SOT 検討に基づく提言 清水敏文(宇宙航空研究開発機構)
10:30	L08b 火星衛星の捕獲説の再検討: 火星原始大気の影響について 鈴木智浩(東京工業大学)	11:54	M08a ALMA によるプラズモイド放出現象の観測 下条圭美(国立天文台)
	L09c 東北大学ハレアカラ観測所で捉えた木星の模様の時間変化 浅田正(九州国際大学)	12:06	M09b 太陽フレアにおける彩層応答と白色光放射との関係 渡邊恭子(防衛大学校)
10:42	L10a 相対性理論による太陽系惑星軌道「ボーデ法則」の証明および土星リングの軌道・個数の算出 犬山文孝(九電産業株式会社環境部 OB)	12:06	M10b 太陽フレアループ内の電子-イオン2温度進化に関する流体シミュレーション 横澤謙介(名古屋大学)
10:54	L11a 黒点変動と太陽系天体位置との興味ある関係 藤原ケイ	12:06	M11b プロミネンスの緯度分布と太陽の周期活動 萩野正興(国立天文台)
		12:18	M12b 非対称磁気リコネクションの強非対称極限での振る舞い 新田伸也(筑波技術大学)



12:18	M13b	CALLISTO 受信機を用いた太陽電波観測 津田菜月(茨城大学)	15:42	M25a	太陽電波ゼブラパターンの準周期的変動 金田和鷹(東北大学)
12:18	M14b	II型太陽電波バーストのリアルタイム自動検出へ向けた試み 久保勇樹(情報通信研究機構)	15:54	M26a	Multi-wavelength observations of solar flares as basement of diagnostics of mechanism of quasi-periodic pulsations 増田智(名古屋大学)
12:30	M15b	情報通信研究機構-東北大学統合太陽電波観測データアーカイブ 久保勇樹(情報通信研究機構)	16:06	M27a	コロナ温度構造診断で見たシグモイド構造の短時間スケールでの発現 土井崇史(東京大学)
	M16c	Deep Learning を用いた生成モデルの太陽観測への応用 加納龍一	16:18	M28a	コロナ質量放出到来のリアルタイム予測に向けたパラメータ決定手法の開発 塩田大幸(情報通信研究機構)
12:30	M17b	飛騨天文台 SMART/SDDIによる太陽彩層速度場全面モニタリング 大辻賢一(京都大学)	16:30	M29a	鉛直1次元温度場中の非フォースフリー太陽磁場モデルに対する磁気流体力学緩和法 三好隆博(広島大学)
12:30	M18b	スペクトル線 He I 1083 nm と Ca II 854 nm の偏光スペクトルの比較 阿南徹(京都大学)	9月12日(火) 午後・I会場		
9月11日(月) 午後・E会場			13:48	M30a	テイラーブラウドマン状態を破る磁場の役割 堀田英之(千葉大学)
14:30	M19a	高速成分を持つ小プラズマ塊の太陽面での発生分布解析 廣瀬公美(京都大学)	14:00	M31a	磁気要素追跡手法を用いた太陽表面速度長期変動について 藤山雅士(名古屋大学)
14:42	M20a	Reconnection enhancement in 3D evolution of a current sheet Shuoyang Wang(The University of Tokyo)	14:12	M32a	黒点データ及びマグネトグラム観測を用いた Active Longitude に関する研究 近藤克哉(名古屋大学)
14:54	M21a	大規模な太陽フレアを生じやすい活動領域の数値シミュレーション 鳥海森(国立天文台)	14:24	M33a	太陽観測衛星「ひので」を用いた静穏領域磁束管形成過程の統計的研究 二宮翔太(京都大学)
15:06	M22a	太陽フレア活動と磁場のねじれとの相関に関する統計解析 旭友希(名古屋大学)	14:36	M34a	太陽彩層ジェットの領域依存性における磁束管膨張率の効果 飯島陽久(名古屋大学)
15:18	M23a	黒点の逆回転と大規模フレア 長谷川隆祥(東京大学/宇宙航空研究開発機構)	14:48	M35a	ALMA による黒点暗部増光の発見 岩井一正(名古屋大学)
15:30	M24a	太陽フレア放射スペクトル予測モデルの構築 西本将平(防衛大学校)	15:00	M36a	浮上磁場領域における最初の活動現象としての H-alpha surge の発生 石井貴子(京都大学)



9月13日(水)午前・I会場		11:54	M49a Hinode/XRT を用いた活動領域マイクロフレアの統計解析 上村亮弥(名古屋大学)
09:30	M37a CLASP/SJ で捉えたライマン $\alpha$ 線の散乱偏光の2次元分布と太陽彩層構造 鹿野良平(国立天文台)		
09:42	M38a Comparison between chromospheric field derived from He I 10830 Å observation and nonlinear force-free field modeling from photosphere 川畑佑典(東京大学)		
09:54	M39a フィラメントの小スケールな内部運動に見られる噴出の前兆 関大吉(京都大学)		
10:06	M40a $H\alpha$ 、 $H\beta$ 、Ca II 8542Å の同時観測によるプロミネンスの温度測定 岡田翔陽(京都大学)		
10:18	M41a プロミネンスの質量凝縮率に対する Rayleigh-Taylor 不安定の影響 金子岳史(名古屋大学)		
10:30	M42a 熱的プラズマのドリフト運動とプロミネンス支持機構 柴崎清登(太陽物理学研究所)		
10:42	M43a 温度と視線速度の位相差から探る、プロミネンス中の波動の性質 町田亜希(京都大学)		
10:54	M44a 噴出するプロミネンスに見られた波動現象 花岡庸一郎(国立天文台)		
11:06	M45a Hinode-IRIS による MHD 波動同時観測 阿部仁(東京大学)		
11:18	M46a 彩層中のモード変換による高周波アルフベン波の生成 庄田宗人(東京大学)		
11:30	M47a コロナループの3次元磁気流体シミュレーション 松本琢磨(名古屋大学)		
11:42	M48a 3次元太陽風グローバルシミュレーション:加熱モデルと高速太陽風について 田光江(情報通信研究機構)		

## N. 恒星

9月11日(月) 午前・D会場		12:18	N13b	Be星プレオネにおける伴星の近日点通過後のH $\alpha$ 輝線変化 本田敏志(兵庫県立大学天文科学センター)	
10:30	N01a	局所理論でのSemiconvection zone 梅津実(東北学院大学)			
10:42	N02a	恒星の自転の進化—恒星内部の粘性係数の評価 勝田豊(北海道大学)	N14c	アンドロメダ銀河領域でのかんむり座R型変光星の観測 新倉広子(東京大学)	
10:54	N03a	s-過程核種合成と炭素過剰金属欠乏(CEMP)星のBaとEuの起源 山田志真子(北海道大学)	N15c	Near-Infrared Thirty "Millimeter" Telescope (IR-TMT)による銀河面変光星探査 板由房(東北大学)	
11:06	N04a	大マゼラン雲の星団を用いたレッドクランプ星の近赤外線等級の金属量・年齢依存性の調査 小野里宏樹(東北大学)	9月11日(月) 午後・D会場		
11:18	N05a	星震学とSDSS/APOGEEで見つかった特異な恒星種族の可視光高分散分光観測 松野允郁(総合研究大学院大学)	14:30	N16a	近赤外線高分散分光器WINEREDが拓くshort-NIR領域での恒星物理学 池田優二(京都産業大学)
11:30	N06a	星震学を用いた恒星の自転傾斜角測定の系統誤差評価 上赤翔也(東京大学)	14:42	N17a	近赤外線高分散分光器WINERED:A型星の近赤外線ラインリスト 鮫島寛明(京都産業大学)
11:42	N07a	ケプラー連星カタログに含まれる接触型連星の質量移動率の性質 高妻真次郎(中京大学)	14:54	N18a	近赤外線高分散分光器WINERED:Z', Y, Jバンドにおける晩期型星の元素組成解析 福江慧(京都産業大学)
11:54	N08a	VERAを用いたOH231.8+4.2に付随する水メーザーの位置天文観測 大山まど薫(鹿児島大学)	15:06	N19a	近赤外線高分散分光器WINEREDを用いたY, Jバンドのライン強度比からの晩期型巨星有効温度の決定法 谷口大輔(東京大学)
12:06	N09a	Physical properties of the C <sub>60</sub> PN SaSt 2-3 and its surrounding environment 大塚雅昭(ASIAA)	15:18	N20a	全天X線監視装置MAXIによって得られたdMe型星のフレア発生頻度分布 佐々木亮(中央大学)
12:18	N10b	惑星状星雲の赤外線のカラー 伊藤洋一(兵庫県立大学)	15:30	N21a	恒星フレアの軟X線とH $\alpha$ 線放射領域の高度比 河合広樹(中央大学)
12:18	N11b	適応的交換モンテカルロ法を用いたスーパーフレア星の多次元パラメータ推定 幾田佳(京都大学)	15:42	N22a	星のフレアの相関内に見られる微細構造 坪井陽子(中央大学)
	N12c	全天X線監視装置MAXIを用いた星のフレアサーチシステムの開発 塚田晃大(中央大学)	15:54	N23a	恒星フレア影響の評価に向けた、太陽系外惑星データベースExoKyotoの整備 山敷庸亮(京都大学)

## P1. 星・惑星形成

16:06	N24a Spectroscopic observations of solar-type superflare stars found from Kepler short (1-min) time cadence data 野津湧太(京都大学)	9月11日(月)午前・F会場	10:30	P101a ALMAによるClass I原始星L1489 IRSの観測II: 歪んだ円盤構造 崔仁士(東京大学/国立天文台)
16:18	N25a 太陽型星の巨大黒点群の時間発展～太陽黒点との比較～ 行方宏介(京都大学)		10:42	P102a 角運動量の非定常な降着によるワープ円盤の形成 松本倫明(法政大学)
9月12日(火)午前・D会場			10:54	P103a 超大質量星周円盤の自己重力安定性 松木場亮喜(東北大学)
09:30	N26a 熱パルスAGB段階での磁気駆動風の生成 保田悠紀(北海道大学)		11:06	P104a 原始惑星系円盤内のガス・ダスト進化に対する近傍大質量星からの光蒸発の影響 山川暁久(東京工業大学)
09:42	N27a 初代星への星間物質中の金属降着に対する恒星風の影響について 田中周太(甲南大学)		11:18	P105a Class 0低質量原始星IRAS 15398-3359の円盤・エンベロープ構造 大小田結貴(東京大学)
09:54	N28a Wolf-Rayet星の構造と質量放出率について 仲内大翼(東北大学)		11:30	P106a 星形成初期段階の原始惑星系円盤における磁場の働き 高橋実道(工学院大学/国立天文台)
10:06	N29a Wolf-Rayet星における $1.87\mu\text{m}$ 超過とKs絶対等級との相関の理論的計算 大澤健太郎(東京大学)		11:42	P107a Disk Structure around the Class 0 Protostar in L1527 坂井南美(理化学研究所)
10:18	N30a 長周期Wolf-Rayet連星系WR19のX線モニタリング観測II 菅原泰晴(宇宙航空研究開発機構)		11:54	P108a Class 0低質量原始星コアL483に付随するアウトフローの回転構造の解析 大屋瑤子(東京大学)
			12:06	P109a 分子雲コアMC27/L1521Fにおける $\sim 0.2 M_{\odot}$ 超低輝度原始星のALMA観測 徳田一起(大阪府立大学/国立天文台)
			12:18	P110b 連星に付随する原始惑星系円盤の近赤外観測 眞山聡(総合研究大学院大学)
			12:18	P111b 巨大分子雲W3のアンモニア観測 飯田美幸(筑波大学)
			12:18	P112b ALMAを用いた大マゼラン雲における分子雲高分解能観測: GMCの進化II 高田勝太(大阪府立大学)

12:30	P113b 磁場に貫かれたフィラメント状分子雲の自己重力不安定性：線形解析と数値シミュレーションとの比較 工藤哲洋（長崎大学）	15:30	P124b 大マゼラン雲における孤立した大質量原始星に付随する分子ガス観測 (5) 原田遼平（大阪府立大学）
12:30	P114b フィラメント状分子雲におけるコア質量関数の理論的記述と数値実験による検証 川村香織（名古屋大学）	15:30	P125b OMC-2, FIR3/4/5 領域の多輝線観測 小山田朱里（日本女子大学）
12:30	P115b 初期宇宙における星形成円盤中での分裂片の migration 過程 鄭昇明（東京大学）	15:30	P126b 統計的手法を用いたオリオン KL の連続波マップ作成 源治弥（東京工業大学）
12:42	P116b First ALMA Results on Young Binaries in Lupus from the SOLA Project Masao Saito(NAOJ)	15:42	P127b VLA と GBT を用いた IRDC G028.23-00.19 に対するアンモニア輝線観測 齋藤敦（電気通信大学）
12:42	P117b 星形成レガシープロジェクト M17 SWex 領域の分子雲コアサーベイ 広瀬亜紗（東京学芸大学）	15:42	P128b A SED Model Grid for Massive Star Formation Yichen Zhang(RIKEN)
12:42	P118b すばる望遠鏡 HSC を用いたへび座星形成領域およびプレセペ星団の超低質量星探査 田中祐輔（東京大学）	15:42	P129b 高銀緯分子雲における星形成の分光探査観測 平塚雄一郎（埼玉大学）
9 月 11 日（月）午後・F 会場			
14:30	P119a The AKARI Phase 3 Near-infrared Spectroscopic Catalog of the Large Magellanic Cloud and the Stellar Spectroscopic Variability Jin Zhang(The University of Tokyo)	15:54	P130a Multiple Coherent Shell Structures Revealed by ALMA Observation of the HH 46/47 Molecular Outflow Yichen Zhang(RIKEN)
14:42	P120a ALMA 望遠鏡による小マゼラン雲内の星形成初期段階領域 N83C の中性炭素原子観測 本間愛彩（大阪府立大学）	16:06	P131a オリオン座領域の Planck cold clumps の化学的進化 census 立松健一（国立天文台）
14:54	P121a Unbiased Chemical Survey of Protostellar Sources in Perseus III 樋口あや（理化学研究所）	16:18	P132a HC <sub>3</sub> N・CCS 分子輝線を利用した TMC-1 の視線方向の構造解析 土橋一仁（東京学芸大学）
15:06	P122a Serpens Main の ALMA Cycle 3 観測：ミリ波で見る進化段階 麻生有佑 (ASIAA)	16:30	P133a 直線偏光観測とゼーマン観測を連携させた TMC-1 コアの磁場強度の見積もり 中村文隆（国立天文台）
15:18	P123a ALMA observations of part of filaments in the Orion A cloud for the initial conditions of star formation 大橋聡史（理化学研究所）	9 月 12 日（火）午前・F 会場	
		09:30	P134a High-resolution observations of G191.51-0.76 Sarolta Zahorecz(Osaka Prefecture University/NAOJ)
		09:42	P135a HCL2 領域の直線構造における OH 18 cm 線の吸収線の解析 海老澤勇治（東京大学）

09:54	P136a 孤立した星形成領域での炭素鎖分子形成 今井宗明(東京大学)	11:18	P148b 観測的可視化で解明する原始惑星系円盤の角運動量輸送とアウトフローの関係 北亦裕晴(大阪大学)
10:06	P137a 星形成領域における H <sub>2</sub> CO の <sup>13</sup> C 同位体比の観測 吉田健人(東京大学/理化学研究所)	9月12日(火)午後・F会場	
10:18	P138a 低金属量環境における星形成過程 樋口公紀(九州大学)	13:00	P149a BISTRO Project Status (2) Tetsuo Hasegawa (NAOJ)
10:30	P139a 中間質量星形成領域 OMC-3 MMS5 に付随する EHV アウトフロー 松下祐子(九州大学)	13:12	P150a The magnetic field strength and energy balance of OMC1 Kate Pattle (University of Central Lancashire/NAOJ)
10:42	P140a Unveiling the role of the magnetic field at the smallest scales of star formation Charles L. H. "Chat" Hull (Harvard-CfA/NRAO/NAOJ)	13:24	P151a A FIRST LOOK AT BISTRO OBSERVATIONS OF THE ρ OPH-A CORE Jungmi Kwon (宇宙航空研究開発機構)
10:54	P141a 「あかり」近・中間赤外線スリットレス分光アーカイブの作成: 2. 中間赤外線(波長 5-13 μm)スペクトルの抽出 山岸光義(宇宙航空研究開発機構)	13:36	P152a Observed properties of interstellar filaments Doris Arzoumanian(Nagoya University)
11:06	P142b 「あかり」近・中間赤外線スリットレス分光アーカイブの作成: 3. 中間赤外線(5-13 μm) PSC の作成及び検証 水木敏幸(宇宙航空研究開発機構)	13:48	P153a Barnard 59 に付随する原始星連星系 BHB11 の力学構造の解明 西合一矢(国立天文台)
	P143c 「あかり」データアーカイブプロジェクトの現状(9) 山村一誠(宇宙航空研究開発機構)	14:00	P154a 乱流による実効的な圧力を考慮したフィラメントモデルの安定性 花輪知幸(千葉大学)
11:06	P144b すばる望遠鏡広視野撮像カメラ HSC を用いたおうし座星形成領域における低質量天体探査 II 馬場はるか(総合研究大学院大学)	14:12	P155a 原始星への降着流に関する3次元磁気流体シミュレーション 高棹真介(名古屋大学)
11:06	P145b Vela C 分子雲の近赤外線偏光観測 楠根貴成(国立天文台)	14:24	P156a 衝撃波圧縮による分子雲の形成条件 岩崎一成(大阪大学)
11:18	P146b Star Cluster Formation Triggered by Giant Molecular Cloud Collisions Benjamin Wu(NAOJ)	14:36	P157a 傾いた磁場を持つ分子雲コア中でのホール効果の影響 塚本裕介(鹿児島大学)
11:18	P147b 短基線 VLBI を用いた大質量原始星候補天体周囲の非定常電離ガス探査とモニター観測 元木業人(山口大学)	14:48	P158a 連星へのガス降着のシミュレーションでのコリオリの力の評価法の改善 宮澤慶次郎(千葉大学)

## P2. 星・惑星形成

9月13日(水) 午前・F会場	9月12日(火) 午前・D会場
09:30 P159a 分子雲衝突による大質量星の形成機構 井上剛志(名古屋大学)	10:30 P201a すばる IRD による M 型矮星周りの地球型惑星探索 IV : サンプル 大宮正士(国立天文台)
09:42 P160a 分子雲形成・進化・破壊と分子雲衝突現象を考慮した巨大分子雲質量関数の時間発展 小林将人(名古屋大学)	10:42 P202a 高金属量 FGK 型星周りの惑星探索 : 3 惑星系検出 原川紘季(国立天文台)
09:54 P161a 分子雲衝突による形成星に Photoionization フィードバックが与える影響のシミュレーション 島和宏(北海道大学)	10:54 P203a ウォームジュピターの近傍を公転する付随天体の発見とその形成過程への示唆 増田賢人(Princeton University)
10:06 P162a 炭素過剰超金属欠乏星と宇宙初期における星・連星系形成史 藤本正行(北海学園大学)	11:06 P204b 球状星団には本当に惑星が少ないのか? 一きよしちょう座 47 における HST サーベイ結果の再検討— 増田賢人(Princeton University)
10:18 P163a 初代星形成シミュレーションにおける星周円盤の分裂について 須佐元(甲南大学)	11:06 P205b 太陽系外惑星 TrES-3 b の近赤外線トランジット観測 多葉田晴日(兵庫県立大学)
10:30 P164a 遠方宇宙の星団中での暴走的衝突による中間質量ブラックホール形成 櫻井祐也(東京大学)	11:06 P206b 太陽系外惑星 HAT-P-16b のトランジット超低分散分光観測 矢口聖(兵庫県立大学)
10:42 P165a ブラックホール降着円盤へのガス降着率とガスの角運動量の関係 杉村和幸(東北大学)	P207c K2 ミッションで検出された小型惑星候補の地上追観測 平野照幸(東京工業大学)
10:54 P166a 若い連星系 GJ1108A の軌道決定と、前主系列星の質量決定精度 水木敏幸(宇宙航空研究開発機構)	11:18 P208b 2015 年 4 月 4 日皆既月食の偏光分光観測 高橋隼(兵庫県立大学)
	11:18 P209b 高空隙率ダストアグリゲイトの衝突によるコンドリュール紛失の可能性 荒川創太(東京工業大学)
	11:18 P210b 3次元衝突シミュレーションによる焼結したアグリゲイトの破壊強度測定 長尾整道(東京工業大学)



9月12日(火) 午後・D会場		14:36	P223a ASTE 望遠鏡を用いたデブリ円盤の [C] <sup>3</sup> P <sub>1</sub> - <sup>3</sup> P <sub>0</sub> 観測 2 佐藤愛樹(茨城大学)
13:00	P211a 原始惑星系円盤における重力不安定の非線形発展 廣瀬重信(国立研究開発法人海洋研究開発機構)	14:48	P224b ALMA による原始惑星系円盤の [C] <sup>3</sup> P <sub>1</sub> - <sup>3</sup> P <sub>0</sub> 輝線サーベイ観測 塚越崇(茨城大学)
13:12	P212a ロスビー波不安定性によって形成される渦の性質・多様性 小野智弘(京都大学)	14:48	P225b ALMA を用いた海王星成層圏大気構造空間分布の観測的取得 飯野孝浩(東京農工大学)
13:24	P213b 海王星型惑星に対する巨大衝突の考察 1: 計算法の開発 黒崎健二(名古屋大学)	14:48	P226b 原始惑星系円盤における永年重力不安定性の非線形解析 富永遼佑(名古屋大学)
13:24	P214b 地球型惑星の衝突脱ガスと大気剥ぎ取りにおける元素分配の寄与 櫻庭遥(東京工業大学)		P227c 質量降着を利用した非常に若い惑星の直接撮像探査 2 鶴山太智(東京大学)
13:24	P215b 巨大衝突によるデブリ円盤からの天王星の衛星形成 石澤祐弥(京都大学)	9月13日(水) 午前・D会場	
13:36	P216a 周惑星系円盤の形成と温度構造に関する数値シミュレーション 藤井悠里(名古屋大学)	09:30	P228a ケプラー測光データを用いた岩石からなる惑星リング探査 逢澤正嵩(東京大学)
13:48	P217b 数値流体シミュレーションを用いた惑星軌道進化計算 金川和弘(シュチェチン大学)	09:42	P229a 重力マイクロレンズ天体の星像内のコンタミの確率のベイズ推定法の確立 越本直季(大阪大学)
13:48	P218b 移動と他の惑星の存在が巨大ガス惑星の固体物質獲得量に与える影響 柴田翔(東京大学)	09:54	P230a Multiple Paths of Deuterium Fractionation in Protoplanetary Disks 相川祐理(東京大学)
13:48	P219b 原始惑星系円盤中での周連星惑星の軌道進化 山中陽裕(京都大学)	10:06	P231a 系外惑星による系外小惑星の散乱と蒸発 長沢真樹子(久留米大学)
14:00	P220a Extended Tail Structure Associated with a Protoplanetary Disc around SU Aur Eiji Akiyama(NAOJ)	10:18	P232a 1次元放射流体計算による集積期巨大ガス惑星からの水素輝線強度の推定 青山雄彦(東京大学)
14:12	P221a ALMA 分光観測による原始惑星系円盤の H <sub>2</sub> O スノーラインの同定可能性 野津翔太(京都大学)	10:30	P233a 氷成分に富む大気を持った巨大ガス惑星の放射強度 黒崎健二(名古屋大学)
14:24	P222a 原始惑星系円盤からの衝撃波トレーサー分子の ALMA 観測 野村英子(東京工業大学)	10:42	P234a 雪降る原始惑星エンベロープの冷却限界とガス集積過程への影響について 生駒大洋(東京大学)

10:54	P235a	ヘイズを持つ系外惑星の大気透過 スペクトルモデル：GJ 1214b と GJ 3470b、GJ 436b への応用 川島由依（東京大学）	15:06	P246a	微惑星から惑星への乱流円盤中での成長 小林浩（名古屋大学）
11:06	P236a	ホットジュピターからの質量放出および 高層大気構造の磁場強度依存性 田中佑希（鹿児島大学）	15:18	P247a	小惑星の衝突破壊・重力再集積によ る形状形成：細長い小惑星形成のため の衝突条件 杉浦圭祐（名古屋大学）
11:18	P237a	X線天文衛星「すざく」とXMM- Newton による HD162020 の観測 江副祐一郎（首都大学東京）			
9月13日（水）午後・D会場					
13:30	P238a	大規模並列粒子シミュレーションコー ド開発用フレームワーク FDPS の Fortran インターフェースの開発 行方大輔（理化学研究所）			
13:42	P239a	粒子系シミュレータ開発フレームワー ク FDPS のアクセラレータ対応 岩澤全規（理化学研究所）			
13:54	P240a	大規模並列粒子シミュレーションコード 開発用フレームワーク FDPS の惑星形 成・リング計算向け最適化 牧野淳一郎（神戸大学）			
14:06	P241a	原始惑星系円盤乱流場中のダスト粒 子運動：非圧縮性乱流と圧縮性乱流 の比較 櫻井幹記（名古屋大学）			
14:18	P242a	氷マントルダストのサイズ分布とダスト 付着成長への影響 田中秀和（東北大学）			
14:30	P243a	乱流中の多孔質ダストの運動とダスト 層の重力不安定 道越秀吾（京都女子大学）			
14:42	P244a	乱流の直接数値計算を用いた原始惑 星系円盤中の岩石ダストの衝突付着 成長シミュレーション 濱端航平（名古屋大学）			
14:54	P245a	円盤風によって進化する原始惑星系 円盤中でのダスト面密度進化 瀧哲朗（国立天文台）			



## Q. 星間現象

9月11日(月) 午前・G会場		12:42	Q13b	銀河系中心領域における星間気体の幾何構造に及ぼす磁気活動の影響 柿内健佑(名古屋大学)	
10:30	Q01a	M8における分子雲衝突による大質量星形成 大河一貴(名古屋大学)	12:42	Q14b	「すざく」衛星によるカリーナ星雲西部に広がった軟X線放射の解析 福島碧都(首都大学東京)
10:42	Q02a	分子雲衝突による大質量星星団 RCW 36 の形成 佐野栄俊(名古屋大学)	12:54	Q15b	輻射流体計算による PDR の時間進化モデル 本山一隆(総合研究大学院大学)
10:54	Q03a	オリオン領域の分子雲衝突: NGC2068 / NGC2071 堤大陸(名古屋大学)	9月11日(月) 午後・G会場		
11:06	Q04a	電離水素領域 RCW34 に付随する大質量星の分子雲衝突による形成の可能性 林克洋(名古屋大学)	14:30	Q16a	NRO 銀河面サーベイプロジェクト (FUGIN): 最終年度報告 梅本智文(国立天文台)
11:18	Q05a	複合 H II 領域 Sh 254 - 258 における分子雲衝突による大質量星形成の考察 佐伯駿(名古屋大学)	14:42	Q17a	NRO 銀河面サーベイプロジェクト (FUGIN): 銀河系外縁部 (4) 松尾光洋(国立天文台)
11:30	Q06a	広域一酸化炭素輝線データを用いた銀河系中心分子層の幾何構造の同定 榎谷玲依(名古屋大学)	14:54	Q18a	NRO 銀河面サーベイプロジェクト (FUGIN): 銀河系内域における分子雲同定 齋藤弘雄(筑波大学)
11:42	Q07a	The Dust-selected Molecular Clouds in the Small Magellanic Cloud 竹腰達哉(電気通信大学)	15:06	Q19a	NRO 銀河面サーベイプロジェクト (FUGIN): ホットコアの無バイアスサーベイ 佐藤一樹(東京大学)
11:54	Q08a	ALMA を用いた巨大星団 RCW38 に対する分子ガスと電離ガスの高分解能観測 鳥居和史(国立天文台)	15:18	Q20a	FUGIN サーベイに基づく鹿児島大学野辺山アンモニアサーベイマッピング観測の現状 上杉正裕(鹿児島大学)
12:06	Q09a	ダスト偏光度の周波数依存性から探る星間ダストの物性 梨本真志(東北大学)	15:30	Q21a	Possibility of chemical differentiation among high-mass star-forming cores Kotomi Taniguchi(SOKENDAI/NAOJ)
12:18	Q10a	Constraining physical conditions for the PDR of Trumpler 14 in Carina Nebula Ronin Wu(LERMA/Paris Observatory)	15:42	Q22a	大質量星形成領域 S106 の未同定赤外 (UIR) バンドの観測 木村智幸(東京大学)
12:30	Q11a	窒素含有有機分子が豊富なホットコアの物理環境の検証 鈴木大輝(宇宙航空研究開発機構 / アストロバイオロジーセンター)	15:54	Q23a	陽子線による QCC の赤外線特性の変性 池内綾人(東京大学)
12:42	Q12b	ほ座 RCW 32 領域の分子雲衝突による形成の検討 榎谷玲依(名古屋大学)	16:06	Q24a	近赤外線高分散分光器 WINERED: C <sub>2</sub> , CN 分子バンドの検出 濱野哲史(京都産業大学)

## Q. 星間現象

16:18	Q25a	近赤外線高分散分光器 WINERED : DIB $\lambda$ 10697 のキャリア分子への制限 竹中慶一(京都産業大学)	9月12日(火)午後・G会場
16:30	Q26a	ジェットによる ULX バブル形成のシミュレーション 朝比奈雄太(国立天文台)	13:00
	Q27c	磁場優勢の圧縮性 MHD 乱流中の粒子加速 寺木悠人(旭川工業高等専門学校)	13:12
9月12日(火)午前・G会場			13:24
09:30	Q28a	Planck・AKARI・IRAS 衛星による銀河系ダスト放射のモデル構築 西原智佳子(名古屋大学)	13:36
09:42	Q29a	アンテナ銀河における巨大星団形成 : 分子雲衝突によるトリガーの可能性 福井康雄(名古屋大学)	13:48
09:54	Q30a	大マゼラン雲における水素原子ガス衝突による N44 形成 柘植紀節(名古屋大学)	14:00
10:06	Q31a	超新星残骸 N49 における硬 X 線と分子雲 山根悠望子(名古屋大学)	14:12
10:18	Q32a	銀河系中心 50km/s 分子雲の分子雲衝突による大質量星形成クランプ 上原顕太(東京大学)	14:24
10:30	Q33a	MAGIC 望遠鏡による銀河系中心領域からのガンマ線観測 岩村由樹(東京大学)	14:36
10:42	Q34a	広がった TeV ガンマ線源 VER J2019+368 の X 線観測(2) 田中慎之(広島大学)	14:48
10:54	Q35a	ガンマ線バーストの X 線残光を用いた天の川銀河の星間ガスの評価 小山恭弘(広島大学)	15:00
11:06	Q36a	「すざく」による重量崩壊型超新星残骸カシオペア A の X 線精密分光 池山優樹(大阪大学)	
11:18	Q37a	分子雲と相互作用している超新星残骸における宇宙線起源の中性鉄輝線探査 信川久実子(奈良女子大学)	
	Q38a	ひとみ衛星によるパルサー風星雲 G21.5-0.9 の広帯域 X 線観測 内田裕之(京都大学)	
	Q39a	フェルミ衛星 LAT 検出器による MBM 53,54,55 分子雲および Pegasus loop 領域の星間ガス・宇宙線の研究(2) 水野恒史(広島大学)	
	Q40a	パルサー星雲の流れ場に空間拡散過程が与える影響 石崎渉(東京大学)	
	Q41a	フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡による超新星残骸 Puppis A の観測 荒川真範(立教大学)	
	Q42a	「すざく」による Kepler 超新星残骸の膨張速度測定 春日知明(東京大学)	
	Q43a	恒星 bow-shock 候補 G70.7+1.2 からの X 線の発見 馬場彩(東京大学)	
	Q44a	Chandra 衛星による超新星残骸 RX J1713.7-3946 の非熱的放射の空間分布観測 奥野智行(京都大学)	
	Q45a	分子雲衝突に起因する超新星残骸からの宇宙線逃亡シナリオの観測的検証 鈴木寛大(東京大学)	
	Q46a	電波シンクロトロン放射強度の二点相関解析による超新星残骸磁場スペクトルの測定について 霜田治朗(青山学院大学)	
	Q47a	Sgr A* 起源の knee 宇宙線 藤田裕(大阪大学)	
	Q48a	IceCube ニュートリノは星形成銀河ですべて説明できるか? 須藤貴弘(東京大学)	

## R. 銀河

9月11日(月) 午後・B会場		10:18	R11a	Molecular Gas Conditions in M83 via PDF Analysis 江草美実(国立天文台)
15:54	R01a			WISDOM Project – IV Black Hole Mass Measurement Using Molecular Gas Kinematics in NGC 5064 大西響子(愛媛大学)
16:06	R02a	10:30	R12a	Subaru/Kyoto 3DII + AO188 による高速電波バースト FRB121102 母銀河の可視光面分光観測 小久保充(東北大学)
	R03c	10:42	R13a	High-resolution imaging of H <sub>2</sub> O maser in the M 82 starburst Yoshiaki Hagiwara (Toyo University)
	R04c	10:54	R14a	GPU を用いた 1PN <i>N</i> 体シミュレーションの高速化 立川崇之(高知工業高等専門学校 / 早稲田大学)
			R15c	Molecular Gas Distribution and Cloud Properties in Young Starburst in the Blue Compact Dwarf Galaxy NGC 5253 Rie E. Miura(NAOJ)
9月12日(火) 午前・B会場		11:06	R16b	High angular resolution and high sensitivity millimeter-wave continuum imaging toward the NGC 253 starburst nucleus 中西康一郎(国立天文台)
09:30	R05a	11:06	R17b	NRO レガシープロジェクト COMING(11): 観測のまとめ 徂徠和夫(北海道大学)
09:42	R06a	11:06	R18b	NRO レガシープロジェクト COMING(12): 銀河群による近傍銀河のガスの性質に与える環境効果の研究 金子紘之(国立天文台)
09:54	R07a	11:06	R19c	NRO レガシープロジェクト COMING(13): 棒渦巻銀河 NGC 4303 における分子ガスの物理状態 矢島義之(北海道大学)
10:06	R08b	11:18	R20a	NRO レガシープロジェクト COMING(14): 近傍棒渦巻銀河の円盤領域における分子ガス速度分散と星形成効率の関係 黒田麻友(大阪府立大学)
10:06	R09b		R21c	NRO レガシープロジェクト COMING(15): <sup>12</sup> CO(1-0) と <sup>13</sup> CO(1-0) を用いた星形成則の比較 佐藤佑哉(筑波大学)
10:06	R10b			NRO レガシープロジェクト COMING(16): 近傍渦巻銀河 NGC628 におけるガスの速度ベクトル 宮本祐介(国立天文台)

9月12日(火) 午後・B会場		9月13日(水) 午前・B会場	
13:00	R22a シミュレーションで探る銀河系における短寿命放射性元素の空間分布 藤本裕輔(オーストラリア国立大学)	09:30	R34a Tidally driven features in galactic interactions Alex Pettitt (Hokkaido University)
13:12	R23a 金属欠乏星の亜鉛組成から探る元素の混合効率 平居悠(東京大学)	09:42	R35a HSCによる、Seyfert 銀河 NGC1068 周囲の minor merger remnants の発見 谷口義明(放送大学)
13:24	R24a すばる望遠鏡 Hyper Suprime-Cam を用いた Draco dSph の構造解析 佐々木花(東北大学)	09:54	R36a Mid-infrared observations of mergers: NGC2782 and NGC7727 尾中敬(東京大学)
13:36	R25a X線光度の異なる楕円銀河周辺における矮小銀河の分布 戸塚都(関西学院大学)	10:06	R37a 銀河の多成分力学平衡分布生成コード MAGI の開発 三木洋平(筑波大学)
	R26c 球状星団の Fokker-Planck モデルにおけるクーロン対数の扱いについての再考 高橋広治(埼玉工業大学)	10:18	R38a ALMAによる近傍赤外線銀河の高密度分子ガス観測、及び、エネルギー源診断 今西昌俊(国立天文台)
13:48	R27a 銀河面からの軟 X線背景放射(4) 中野慎也(名古屋大学)	10:30	R39a 氷吸収プロファイルの解析で探る ULIRG における dark cloud の物理状態と分布 道井亮介(東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)
14:00	R28a 銀河系の巨大ブラックホールを周回する星 S2 の視線速度モニター観測 西山正吾(宮城教育大学)		R40c CO(4-3)& [CI] Observations in ULIRGs with ASTE Misaki Ando (SOKENDAI/NAOJ)
14:12	R29a VVV データを使用したレッドクランプ法による銀河系中心の減光則決定 長友竣(京都大学)	10:42	R41a ALMA Astrochemical Observations of an Infrared-Luminous Merger 原田ななせ(ASIAA)
14:24	R30a Gaia TGAS によるセファイドの特異速度とペルセウス腕の動力学的性質 馬場淳一(国立天文台)	10:54	R42a 5pc 分解能で見た近傍星形成銀河 NGC 253 中心部の星形成活動の多様性(2) 安藤亮(東京大学)
14:36	R31a OH/IR 星を対象とした VLBI 位置天文に基づく銀河動力学的観測的研究 中川亜紀治(鹿児島大学)	11:06	R43a 低重元素量の矮小銀河 NGC6822 における分子雲の化学組成 西村優里(東京大学 / 国立天文台)
14:48	R32a バー効果を考慮した銀河ガス円盤の観測的可視化 町田真美(九州大学)	11:18	R44a NGC3627 における分子雲同士の相互作用の化学組成への影響 渡邊祥正(筑波大学)
15:00	R33a スパースモデリングを用いた銀河磁場解析 宮下恭光(熊本大学)		

## S. 活動銀河核

9月12日(火) 午前・E会場		9月12日(火) 午後・E会場	
09:30	S01a AGN 輻射駆動噴水モデル II: 分子・原子線、X線疑似観測による検証 和田桂一(鹿児島大学)	13:00	S11b モンテカルロシミュレーションを用いた X線反射モデルによる活動銀河核トラスの物理状態の推定 挽谷政弥(広島大学)
09:42	S02a 超新星爆発駆動モデルによる活動銀河核の遮蔽構造 川勝望(呉工業高等専門学校)	13:00	S12b すばる補償光学付き面分光観測による銀河中心部のガスの運動・構造の計測 川口俊宏(尾道市立大学)
09:54	S03a ファラデー回転で探る NGC 1275 の核周環境 永井洋(国立天文台)	13:00	S13b OISTER Optical and Near-Infrared Monitoring Observations of a Peculiar Radio-Loud Active Galactic Nucleus SDSS J110006.07+442144.3 諸隈智貴(東京大学)
10:06	S04a 大光度赤外線銀河 IRAS 08572+3915 における CO 振動回転遷移線吸収の時間変化 (1): 時間変動の検出 大西崇介(宇宙航空研究開発機構/東京大学)	13:12	S14b 活動銀河核における狭輝線領域の赤方偏移進化 仁田裕介(愛媛大学)
10:18	S05a 大光度赤外線銀河 IRAS 08572+3915 における CO 振動回転遷移線吸収の時間変化 (2): AGN トラスモデルへの示唆 中川貴雄(宇宙航空研究開発機構)	13:12	S15b $z \sim 3$ 電波銀河における狭輝線領域の物理化学状態 寺尾航暉(愛媛大学)
10:30	S06a 一酸化炭素吸収バンドから探る AGN トラス内縁付近の状態と構造: シリケートダスト吸収・X線観測結果との比較 馬場俊介(宇宙航空研究開発機構/東京大学)	13:12	S16b すばる望遠鏡 Hyper Suprime-Cam を用いた赤方偏移 1 における AGN-red galaxy のクラスタリング探査 佐藤真帆(東北大学)
10:42	S07a Fe-K short-time lags produced by distant clouds in active galactic nuclei Misaki Mizumoto (JAXA/The University of Tokyo)		S17c 相対論的な平行平板状輻射流体の定常解 岩本弘一(日本大学)
10:54	S08a 「すざく」および Swift/BAT で明らかになった 1 型クェーサー 3C 345 の光学的に非常に分厚い吸収体 江口智士(福岡大学)	13:24	S18a X-ray bright optically faint AGNs found in XMM-Newton and Subaru Hyper Suprime-Cam surveys 寺島雄一(愛媛大学)
11:06	S09a MAGNUM プロジェクト: ダスト反響法による活動銀河核距離測定の Ia 型超新星による較正 越田進太郎(国立天文台)	13:36	S19a すばる Hyper Suprime-Cam を用いた $z \sim 5$ 低光度クェーサー探査による光度関数の調査 仁井田真奈(愛媛大学)
11:18	S10a クェーサーのカラーの光度依存性 和田一馬(京都大学)	13:48	S20a X線天文衛星 NuSTAR と XMM-Newton による狭輝線セイファート 1 型銀河 SWIFT J2127.4+5654 の観測 井戸垣洋志(京都大学)
		14:00	S21a Swift で探る活動銀河核 NGC 6814 の X線-UV 強度変動の相関の変化 野田博文(東北大学)



## S. 活動銀河核

14:12	S22a	狭輝線 I 型セイファート銀河 NGC 4051 における一次放射成分の時間変動 三宅克馬 (東京大学)	10:54	S34a	ブレーザーの硬 X 線光度関数と MeV ガンマ線背景放射への寄与 戸田皓陽 (広島大学)
14:24	S23a	Ionized gas outflows in infrared-bright dust-obscured galaxies selected with WISE and SDSS 鳥羽儀樹 (ASIAA)	11:06	S35a	150 MHz TGSS, 1.4GHz NVSS データを用いたブレーザー候補天体カタログと Pan STARRS データによる可視対応天体の同定 田中康之 (広島大学)
14:36	S24a	BAL クエーサー APM 08279+5255 からの非常に高速な降着円盤風とその加速機構 萩野浩一 (東京理科大学)	9 月 13 日 (水) 午後・E 会場		
14:48	S25a	ラインフォース駆動型円盤風による SMBH 進化の自己制御機構 野村真理子 (慶應義塾大学)	13:30	S36a	多周波電波観測による超高光度赤外線銀河のエネルギー源診断 林隆之 (麻布学園 / 国立天文台)
15:00	S26a	AGN 円盤風の変動に基づく銀河規模アウトフローの力学的発展 福田晋久 (首都大学東京)	13:42	S37a	ALMA View of the Circum-nuclear Disk of the Galactic Center Masato Tsuboi (宇宙航空研究開発機構)
9 月 13 日 (水) 午前・E 会場			13:54	S38a	相対論的ジェットの散逸機構: レイリーテイラー不安定性 當真賢二 (東北大学)
09:30	S27a	Swift 衛星による電波銀河 NGC1275 の可視光から X 線帯域の変動解析 今里郁弥 (広島大学)	14:06	S39a	相対論的ジェットの境界面を不安定にするトリガーの研究 松本仁 (理化学研究所)
09:42	S28a	フェルミ衛星を用いた電波銀河 NGC 1275 の長期変動解析 棚田和玖 (早稲田大学)	14:18	S40a	相対論的流体における因果律を保った光子多重散乱の効果 高橋芳太 (苫小牧工業高等専門学校)
09:54	S29a	M87 活動銀河核ジェットのシンクロトロン放射モデルにおける乱流磁場の影響 萩原大樹 (東北大学)			
10:06	S30a	M87 ジェットの形状と加速: 相対論的理論モデルの適用 高橋真聡 (愛知教育大学)			
10:18	S31a	MAGIC のガンマ線観測に基づく電波銀河 M87 コアの多波長放射モデル 浅野勝晃 (東京大学)			
10:30	S32a	可視光変動と偏光観測で探る CTA 102 のフレア時における変動起源 橘優太郎 (東京工業大学)			
10:42	S33a	活動銀河核ジェットの多波長データを用いたマルコフ連鎖モンテカルロ法による物理量推定 山田悠梨香 (広島大学)			

## T. 銀河団

9月11日(月) 午前・B会場		9月11日(月) 午後・B会場	
10:30	T01a X線天文衛星「ひとみ」によるペルセウス座銀河団の温度構造解析Ⅱ 中島真也(理化学研究所)	14:30	T11a N体シミュレーションを用いた銀河団周辺のハローの運動の解析 濱端亮成(東京大学)
10:42	T02a 銀河団中心部でのプラズマの二温度構造:「ひとみ」の測定結果の意義 牧島一夫(理化学研究所)	14:42	T12a 銀河団のダークマターとバリオン分布の楕円率と主軸の向きとの相関 岡部泰三(東京大学)
10:54	T03a 「ひとみ」によるペルセウス座銀河団の高温ガスの速度場の測定 上田周太郎(宇宙航空研究開発機構)	14:54	T13a $z \sim 1$ までの銀河団ガスの鉄元素分布の進化 天海公志(東京理科大学)
11:06	T04a ペルセウス座銀河団における高温ガスの乱流による共鳴散乱の評価Ⅱ 古川愛生(東京理科大学)	15:06	T14a SDSS・すばる HSC 銀河団カタログの弱重力レンズ効果による可視光観測量と銀河団質量の関係の導出 村田龍馬(東京大学)
11:18	T05a 「ひとみ(ASTRO-H)」SXSによるペルセウス座銀河団中心部の共鳴散乱Ⅲ 佐藤浩介(東京理科大学)	15:18	T15a Subaru/HSC サーベイ領域にある重量級銀河団のX線観測による質量推定Ⅲ 宮岡敬太(広島大学)
11:30	T06a モンテカルロシミュレーションを用いた楕円銀河における共鳴散乱の影響の評価 大野雅功(広島大学)	15:30	T16a HSC-SSP サーベイ領域にある可視銀河団のX線フォローアップ計画 太田直美(奈良女子大学)
11:42	T07a 衝突銀河団 Abell 754 における両側の衝撃波の発見 井上翔太(大阪大学)	15:42	T17b HSC-SSP サーベイ領域 Weak Lensing 銀河団のX線フォローアップ計画 三石郁之(名古屋大学)
11:54	T08a 多波長観測から迫る銀河団 RXC J1053.7+5453 の衝突過程と粒子加速 板花まどか(山形大学)		
12:06	T09a 銀河団衝突で発生した若い衝撃波の観測研究 加藤佑一(東京大学)		
12:18	T10a Abell 3395 と Abell 3391 の連結領域のX線観測 滝沢元和(山形大学)		

## U. 宇宙論

9月11日(月) 午前・K会場		12:18	U12b	Light deflection and Gauss-Bonnet theorem. II. Application to Schwarzschild and Schwarzschild-de Sitter spacetime 荒木田英禎(日本大学)
10:30	U01a			宇宙はどのようにできたか 小堀しづ
10:42	U02a		U13c	非一様ビッグバン元素合成における Li, Be, B 生成 中村理央(久留米工業大学)
10:54	U03a	12:18	U14b	CMB B mode による原初磁場の制限について 山崎大(茨城大学)
		12:18	U15b	ニュートリノ振動のメカニズム 小堀しづ
11:06	U04a		U16c	陽子のクォークのエネルギーは、陽子の質量エネルギーのおよそ1パーセントによりならないのはなぜか。高エネルギー加速器で得られた電磁気束は、素粒子の中で、どのような状態であったか 小堀しづ
11:18	U05a	9月11日(月) 午後・K会場		
		14:30	U17a	EMRI における Kerr ブラックホールの地平面近傍での計量の二次摂動 山田慧生(京都大学)
11:30	U06a	14:42	U18a	重力波と銀河の相互相関から大質量連星ブラックホールの起源に迫る 西澤淳(名古屋大学)
11:42	U07a	14:54	U19a	銀河形状による初期三点相関の非等方性の検証 小粥一寛(名古屋大学)
11:54	U08a	15:06	U20a	CMB 観測実験 POLARBEAR-1 による重力レンズ起源 B モード偏光測定の最新結果と将来の地上 CMB 実験 茅根裕司(カリフォルニア大学)
	U09c	15:18	U21a	宇宙マイクロ波背景放射の黒体放射からのズレによる原始磁場の制限 田代寛之(名古屋大学)
	U10c	15:30	U22a	Super-Survey Tidal Effects in the Redshift-space 秋津一之(東京大学)
12:06	U11a			Light deflection and Gauss - Bonnet theorem. I. Definition of total deflection angle 荒木田英禎(日本大学)



## V1. 観測機器

15:42	U23a	バリオン音響振動で探る初期パワースペクトルの特徴 堀口晃一郎(名古屋大学)	9月11日(月) 午前・A会場
15:54	U24a	Iterative algorithm を用いたバリオン音響振動の再構築 羽田龍一郎(東北大学)	10:30 V101a 野辺山 45m 電波望遠鏡の開発・整備進捗状況 南谷哲宏(国立天文台)
16:06	U25a	弱重力レンズ効果による CMB Cold Spot 方向の質量分布測定 樋口祐一(ASIAA)	10:42 V102b 野辺山 45m 電波望遠鏡の FOREST 受信機における新機能紹介と性能評価報告 松尾光洋(国立天文台)
16:18	U26a	数値シミュレーションからの Fisher 情報量行列のノンパラメトリックな推定法 池田思朗(統計数理研究所)	10:42 V103b 野辺山 45 m 電波望遠鏡搭載同時観測用周波数フィルタの開発 岡田望(大阪府立大学)
			10:42 V104b ROACH ボードを用いたデジタル分光計の開発 藏原昂平(鹿児島大学)
			10:54 V105a NRO レガシープロジェクト COMING(10): 自動リダクションシステムの開発 田中隆広(筑波大学)
			11:06 V106a 野辺山 45m 電波望遠鏡複周波数バンド同時観測プロジェクト (Hybrid Installation Project in Nobeyama, Triple-band Oriented) 澤田 - 佐藤聡子(鹿児島大学)
			11:18 V107a 野辺山 45m 電波望遠鏡搭載用 MKID カメラの搭載試験 永井 誠(国立天文台)
			11:30 V108a 野辺山 45m 電波望遠鏡搭載用 MKID カメラの解析ハイフライン Zhai Guangyuan(筑波大学)
			11:42 V109a 建設後 25 年になる水沢 10m 電波望遠鏡の現状と性能向上について 亀谷 収(国立天文台)
			11:54 V110a 那須観測所における、V404 や Cyg X-3 の電波バースト観測 遊馬 邦之(早稲田大学)
			12:06 V111a 広帯域フィードの開発 (XII) 氏原秀樹(情報通信研究機構)
			12:18 V112b 山口干渉計とそれを用いた fast radio burst 相乗探査体制の構築状況 青木貴弘(山口大学)
			12:18 V113b 高萩 / 日立 32 m 電波望遠鏡の整備状況 (16) 米倉覚則(茨城大学)

## V1. 観測機器

12:18	V114b 大阪府大 1.8 m 電波望遠鏡の K 帯給電系開発と気球 VLBI 実験 保田大介 (大阪府立大学)	16:06	V126a ALMA サイクル 5 に向けた単一鏡データ解析パイプラインの開発 杉本香菜子 (国立天文台)
	V115c VERA-upgrade 計画の進捗 I 小山友明 (国立天文台)	16:18	V127b 野辺山 45m 電波望遠鏡観測データアーカイブの開発 吉野彰 (国立天文台)
9 月 11 日 (月) 午後・A 会場			
14:30	V116a ALMA の運用 (11) と拡張計画 (5) 井口聖 (国立天文台)	V128c ALMAWebQL v3: a technology preview Yuji Shirasaki (NAOJ)	
14:42	V117a Assessing the Future Capability of ALMA at 50 km Baselines Toshiki Saito(NAOJ)	16:18	V129b 1.85m 電波望遠鏡による広帯域観測のための新受信機開発 上田翔汰 (大阪府立大学)
14:54	V118a Work for ALMA band 2+ and band 2+3 receiver optics at NAOJ Gonzalez Alvaro(NAOJ)	16:18	V130b 汎用デジタル分光装置 : OCTAD-S 岩井一正 (名古屋大学)
15:06	V119a 高臨界電流密度接合を用いた IF 広帯域 SIS ミクサ - プリアンプモジュール 小嶋崇文 (国立天文台)	16:30	V131a Large Submillimeter Telescope (LST): 3) Surface Error Budget and Wind Effect Ryohei Kawabe (NAOJ)
9 月 12 日 (火) 午前・A 会場			
15:18	V120a ALMA Band 7+8 帯 (275-500 GHz) SIS ミクサの開発状況とデュアルバンド評価システムの構築 上水和典 (国立天文台)	09:30	V132a CMB 偏光観測衛星 LiteBIRD 計画の現状 羽澄昌史 (高エネルギー加速器研究機構)
15:30	V121b 金属 3Dprinter 技術を用いた Band1 周波数帯 (35-50GHz) コンポーネントの試作 金子慶子 (国立天文台)	09:42	V133a LiteBIRD の低周波数帯のビームパターン評価 今田大皓 (宇宙航空研究開発機構)
15:30	V122b ALMA Band 7+8 (275 - 500 GHz) 導波管型 2SB ユニットの設計と評価 山屋陽香 (電気通信大学)	09:54	V134a CMB 偏光観測衛星 LiteBIRD における系統誤差の研究 X 永田竜 (高エネルギー加速器研究機構)
15:30	V123b Wideband waveguide power combiner for ALMA Band 7+8 (275-500 GHz) Local Oscillator Gonzalez Alvaro(NAOJ)	10:06	V135a 宇宙マイクロ波背景放射 B モード偏光観測衛星 LiteBIRD の偏光変調器の開発概要 片山伸彦 (東京大学)
15:42	V124a 国立天文台電波望遠鏡データアーカイブの構築計画 小杉城治 (国立天文台)	10:18	V136b LireBIRD 搭載光学系の公差解析 鹿島伸悟 (国立天文台)
15:54	V125a ALMA パイプラインの現状 6: Cycle4 の運用状況と Cycle5 へ向けて 三浦理絵 (国立天文台)	10:18	V137b テラヘルツ光子計数型検出器の基礎開発 -III 江澤元 (国立天文台)
		10:18	V138b テラヘルツ強度干渉計による画像合成手法 松尾宏 (国立天文台)

## V2. 観測機器

		9月11日(月) 午前・H会場	
10:30	V139a 高速回転変調による大角度スケールのCMB偏光観測 - GroundBIRD 実験 長崎岳人(高エネルギー加速器研究機構)	10:30	V201a Nano-JASMINE と小型 JASMINE の進捗概要 郷田直輝(国立天文台)
10:42	V140a 宇宙マイクロ波背景放射偏光観測実験 POLARBEAR-2 の開発現状 長谷川雅也(高エネルギー加速器研究機構)	10:42	V202a Nano-JASMINE と小型 JASMINE の星像中心推定手法の開発 山田良透(京都大学)
10:54	V141a 宇宙マイクロ波背景放射 B モード偏光観測実験 POLARBEAR-2 のレシーバシステムの光学試験(2) 濱田崇穂(東北大学)	10:54	V203b 小型 JASMINE 衛星キー技術開発 上田暁俊(国立天文台)
11:06	V142a 連続回転半波長板を用いた観測における無偏光から偏光への漏れ込みの評価 高倉理(大阪大学)	10:54	V204b 小型 JASMINE 光学系に最適な性能評価関数 3 鹿島伸悟(国立天文台)
11:18	V143b CMB 偏光 B モード観測における前景放射成分分離の高精度化を目的としたフーリエ分光器の開発 官野史靖(東北大学)	10:54	V205b JASMINE における星像位置の高精度決定実証 矢野太平(国立天文台)
		11:06	V206a 宇宙赤外線背景放射観測のロケット実験 CIBER-2: 全体状況および光学系試験 高橋葵(関西学院大学 / 総合研究大学院大学)
9月12日(火) 午後・A会場		11:18	V207b ロケット実験 CIBER-2: 観測装置の構造解析 児島智哉(関西学院大学)
13:00	V144a SPART 電波望遠鏡 / あかつき衛星 / ALMA/ Pirk a 望遠鏡による金星の連携観測プロジェクト 前澤裕之(大阪府立大学)	11:18	V208b 「あかり」中間赤外線スリット分光観測データにおける散乱光除去 高橋葵(総合研究大学院大学 / 関西学院大学)
13:12	V145a 超小型火星探査機による THz ヘテロダイン分光観測プロジェクト 松本怜(大阪府立大学)	11:18	V209b 遠赤外線干渉計 FITE フライト計画 芝井広(大阪大学)
13:24	V146a THz 帯超伝導ヘテロダイン検出器の搭載による SMILES-2 衛星の天文観測応用 西田侑治(大阪府立大学)	11:30	V210a SPICA (次世代赤外線天文衛星) 計画の進捗 芝井広(大阪大学)
		11:42	V211a Mission Concept Studies for the 2020 Decadal Survey ; The study of Mid-Infrared Imager, Spectrometer, Coronagraph (MISC) for Origins Space Telescope (OST) 左近樹(東京大学)
			V212c SUNRISE-3 気球実験: 近赤外偏光分光装置 SCIP 用偏光ビームスプリッターの開発 永田伸一(京都大学)

11:54	V213b 次期太陽観測用小型衛星に向けた高感度紫外線撮像分光装置の光学設計検討 川手朋子(宇宙航空研究開発機構)	15:18	V224b HSC pipeline 一般共同利用サポートの現状報告 大石晋恵(国立天文台)
11:54	V214b 木曾超広視野高速 CMOS カメラ Tomo-e Gozen FM 筐体の開発 高橋英則(東京大学)	15:18	V225c HSC 近傍銀河データの PSF 測光 小宮山裕(国立天文台)
11:54	V215b 木曾超広視野高速 CMOS カメラ Tomo-e Gozen の状態監視システムの開発 小島悠人(東京大学)	15:18	V226b 広島大学かなた望遠鏡のリモート観測システム 植村誠(広島大学)
12:06	V216a 半導体光増幅素子 MPPC を用いた高時間分解能を持つパルサー観測システムの開発 中森健之(山形大学)	15:18	V227b 一露出型可視偏光撮像器 HOWPol の CCD 冷却機構の改良 松場祐樹(広島大学)
12:18	V217a 光ファイバベース 1.55 $\mu\text{m}$ (193 THz) ヘテロダイン光干渉計の検討 その3 木内等(国立天文台)	15:30	V228a 太陽シンチレーションモニタによる高度に依存した大気擾乱推定及びシーイングの定量化 山本大二郎(茨城大学)
9月11日(月)午後・H会場		15:42	V229b 太陽 SLODAR による大気ゆらぎ層の高さ分布の測定 三浦則明(北見工業大学)
14:30	V218a SuMIRe-PFS[6] - プロジェクト概要と進捗状況まとめ 2017 田村直之(東京大学)	15:42	V230b 京都大学理学研究科附属天文台 液晶チューナブルフィルター開発計画 木村剛一(京都大学)
14:42	V219b SuMIRe-PFS [7] 観測制御システム進捗 - ソフトウェア開発と観測制御の流れ 下農淳司(東京大学)	15:42	V231c 太陽画像改善のための Phase Diversity 並列処理 三浦則明(北見工業大学)
14:42	V220b SuMIRe-PFS [8] - サーベイ計画の構築へ向けて 矢部清人(東京大学)	15:42	V232b GROWTH プロジェクトにおける突発天体専用データベースの構築 伊藤亮介(東京工業大学)
14:42	V221b SuMIRe-PFS [9] - PFS の試験観測計画の現状と準備状況 森谷友由希(東京大学)	15:54	V233b FOCAS 用イメージスライサー型面分光ユニットの開発 8 尾崎忍夫(国立天文台)
14:54	V222a SuMIRe-PFS [10] Science Database for HSC + PFS 田中賢幸(国立天文台)	15:54	V234b 3波長同時偏光撮像装置“MuSaSHI”偏光観測ユニットの開発 清野玄太(埼玉大学)
15:06	V223a HSC-SSP サーベイにおける、CCD 毎の検出天体カタログのデータベース開発 山田善彦(国立天文台)	15:54	V235b 京大岡山 3.8m 望遠鏡搭載に向けた高コントラスト装置 SPLINE の開発 2 黒田真之佑(北海道大学)
			V236c 西はりま VTOS によるスペckル観測とデータ処理(3): パワースペクトル解析の精密化と拡張 桑村進(北見工業大学)

16:06	V237a 国産の天文観測用大面積 InGaAs 近赤外線イメージセンサーの試作 中屋秀彦（国立天文台）	11:06	V249b 超低熱膨張セラミックを用いた赤外線観測用アサーマル反射光学系の開発 猿楽祐樹（東京大学）
16:18	V238b 1.3k × 1.3k InGaAs 赤外線検出器の広島大学観測環境下における性能評価 森裕樹（広島大学）	11:06	V250b 近赤外線高分散分光器 WINERED : 波長安定性が高 S/N 赤外線スペクトルに与える影響 渡瀬彩華（京都産業大学）
9月12日（火）午前・H会場		11:06	V251b 可視近赤外線同時カメラ HONIR における一露出型偏光観測モードの性能評価 長木舞子（広島大学）
09:30	V239a 新しい4色同時撮像カメラ MuSCAT2 の開発 成田憲保（東京大学）		V252c IRD のためのモードスクランブラー試験 2 石塚将斗（東京大学）
09:42	V240a 小口径望遠鏡用可視補償光学試験装置の開発 峰崎岳夫（東京大学）		V253c Near-Infrared Thirty "Millimeter" Telescope (IR-TMT) の開発と今後の計画 森田亮介（東北大学）
09:54	V241a 小口径望遠鏡用可視補償光学試験装置の性能評価 河野志洋（東京大学）	11:18	V254b 中間赤外線観測装置 MIMIZUKU の開発・性能評価試験 上塚貴史（東京大学）
10:06	V242a ULTIMATE-Subaru: すばる次世代広視野補償光学計画の概要と現状 美濃和陽典（国立天文台）	11:18	V255b 中間赤外線観測装置 MIMIZUKU 用 Aquarius 検出器の性能評価 山口淳平（東京大学）
10:18	V243a すばる望遠鏡レーザトモグラフィー補償光学の開発 秋山正幸（東北大学）	11:18	V256b TAO サイトにおける大気中の水蒸気量の時間変動の測定 内山允史（東京大学）
10:30	V244b 飛騨天文台における AO/GLAO の開発 三浦則明（北見工業大学）	9月12日（火）午後・H会場	
10:30	V245b 天体観測のための補償光学システム開発 藤田勝（大阪電気通信大学）	13:00	V257a TMT 計画 - 進捗報告 臼田知史（国立天文台）
10:30	V246b Subaru/IRCS 熱赤外偏光観測機能の立ち上げ 1 - 撮像偏光試験観測結果 本田充彦（久留米大学）	13:12	V258a 東京大学アタカマ天文台 TAO6.5m 望遠鏡プロジェクトの進捗報告 吉井讓（東京大学）
10:42	V247a 近赤外線高分散分光器 WINERED: 高感度非冷却近赤外線分光器の実現 近藤荘平（京都産業大学）	13:24	V259a 京大岡山 3.8m 望遠鏡: 進捗と予定 長田哲也（京都大学）
10:54	V248a VINROUGE 搭載用高効率 Ge イメージングの低温性能実証 猿楽祐樹（東京大学）	13:36	V260a 大型低温重力波望遠鏡 KAGRA: 全体報告 伊藤洋介（東京大学）



## V3. 観測機器

13:48	V261a 大型低温重力波望遠鏡 KAGRA の補助光学系の開発 VIII 阿久津智忠 (国立天文台)	9月11日 (月) 午前・I会場
14:00	V262a 大型低温重力波望遠鏡 KAGRA の防振系 大石奈緒子 (国立天文台)	10:30 V301a 次期 X 線天文衛星搭載に向けた小型 X線 CCD 素子の性能評価 大西里実 (大阪大学)
14:12	V263a Vibration isolation for KAGRA: status report on the beam splitter suspension test and installation Fabián Erasmo Peña Arellano (NAOJ)	10:42 V302a 軟X線から硬X線の広帯域を高感度で撮像分光する小型衛星計画 FORCE の現状 (5) 森浩二 (宮崎大学)
14:24	V264a 液晶空間光変調器を用いたサバール板横シヤリングナル干渉計のためのスペックル除去技術の開発 河合研弥 (北海道大学)	10:54 V303a 将来の硬 X 線・ガンマ線衛星に向けたシンチレータ反射材の改良 清野愛海 (東京大学)
14:36	V265a 広帯域コロナグラフ観測を目指した 3 層 8 分割位相マスクの特性評価 2 小室佑介 (北海道大学)	11:06 V304a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 24: 裏面照射型 X 線 SOI ピクセル検出器の軟 X 線性能評価 原田颯大 (京都大学)
14:48	V266a 瞳面アポダイザを用いた 8 分割位相マスクコロナグラフの室内実証実験 渋谷恭平 (北海道大学)	11:18 V305a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 25: 大型 X 線 SOI ピクセル検出器のイベント駆動読み出しの評価 林秀輝 (京都大学)
9月13日 (水) 午前・H会場		11:30 V306a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 26: X 線ピクセル検出器「XRPIX」多段化システムの開発 立花克裕 (京都大学)
09:30	V267a 京都大学飛騨天文台 65cm 屈折望遠鏡制御装置の改修 仲谷善一 (京都大学)	11:42 V307b SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 22: X 線用 SOIPIX 検出器の放射線耐性の評価 鎌田敬吾 (東京理科大学)
09:42	V268a 新しい原理による空間分解能をもつ高分散分光器の開発 細川晃 (総合研究大学院大学)	11:42 V308b SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 23: サブピクセルレベルでの X 線応答評価 大野顕司 (東京理科大学)
09:54	V269a 岡山天体物理観測所高分散分光器 HIDES 用天文コムの開発 II. 装置概要 稲場肇 (産業技術総合研究所)	11:42 V309b すざく衛星搭載 XIS の Si-K 吸収端付近の応答関数の問題とその改善 林田清 (大阪大学)
10:06	V270a 岡山天体物理観測所高分散分光器 HIDES 用天文コムの開発 II. 試験観測 神戸栄治 (国立天文台)	11:54 V310a すざく衛星搭載 XIS を用いた地球超高層大気の組成解析のための応答関数の検討 森田佳恵 (埼玉大学)
10:18	V271a 岡山 188cm 望遠鏡と高分散分光器 HIDES-F の全自動観測システムの構築 前原裕之 (国立天文台)	V311c すざく衛星 HXD-PIN のバックグラウンドモデルの改良 深沢泰司 (広島大学)

12:06	V312a 「ひとみ」(ASTRO-H)/SXS スペア Be 窓の評価 II 吉田裕貴(立教大学)	15:30	V324a 光電子追跡型X線偏光計の機械学習による偏光応答モデルの開発 北口貴雄(広島大学)
12:18	V313b 「ひとみ(ASTRO-H)」搭載軟ガンマ線検出器における軌道上バックグラウンドの理解 大野雅功(広島大学)	15:42	V325a 分角のX線望遠鏡を用いた秒角の高角度分解能を持つ光学系の設計検討 Yoshitomo Maeda(宇宙航空研究開発機構)
12:18	V314b 超小型衛星 ORBIS に関するフラックスキャリブレーション候補天体の選定 中野慎也(名古屋大学)	15:54	V326a ダークバリオン探査ミッション Super DIOS の開発へ向けた検討 大橋隆哉(首都大学東京)
12:18	V315b MAXI-NICER リアルタイム連携計画 三原建弘(理化学研究所)	16:06	V327b ダークバリオン探査衛星計画 DIOS 搭載4回反射型X線望遠鏡の開発 関大策(名古屋大学)
9月11日(月)午後・I会場			
14:30	V316a X線偏光観測衛星 IXPE への緊急参加 玉川徹(理化学研究所)	16:06	V328b 炭素繊維強化プラスチックのX線反射鏡における位置決め方法の開発 横田翼(名古屋大学)
14:42	V317a X線偏光観測衛星 IXPE 搭載X線望遠鏡用受動型熱制御素子サーマルシールドの開発 三石郁之(名古屋大学)	16:06	V329b Time Projection Chamber とフーリエ合成による撮像偏光計の基礎研究 中野俊男(理化学研究所)
14:54	V318b IXPE 衛星搭載X線望遠鏡用サーマルシールドの開発における環境試験 菅沼亮紀(名古屋大学)	16:18	V330a X線多重像干渉計 MIXIM 計画の検討と基礎開発の現状 川端智樹(大阪大学)
9月12日(火)午前・I会場			
14:54	V319b 偏光観測衛星 IXPE 搭載用 GEM の画像処理を用いた品質検査法の開発 周圓輝(東京理科大学/理化学研究所)	09:30	V331a 軟X線全天観測超小型衛星 HaloSat の性能評価とサイエンス検討 石原雅士(名古屋大学)
14:54	V320b 高エネルギーX線を検出するマイクロパターン TPC 型X線偏光計の開発 早藤麻美(理化学研究所)	09:42	V332a 太陽観測ロケット FOXSI-3 検出器の実機動作確認と性能評価 古川健人(宇宙航空研究開発機構)
	V321c ガンマ線バースト用ガンマ線偏光観測衛星 SPHiNX 計画 高橋弘充(広島大学)	09:54	V333a MeV ガンマ線天文学開拓のための豪州気球実験 SMILE-2+ の準備状況 水村好貴(京都大学)
15:06	V322a SPHiNX 衛星で用いる GAGG シンチレータの基礎特性評価 内田和海(広島大学)	10:06	V334a Cherenkov Telescope Array (CTA) 計画: 全体報告(13) 山本常夏(甲南大学)
15:18	V323a 将来X線偏光観測に向けたシンチレータ+MPPC での低エネルギー応答の評価 鳥越健斗(広島大学)	10:18	V335a CTA 大口径望遠鏡用分割鏡の性能評価試験 黒田隼人(東京大学)

## W1. コンパクト天体

10:30	V336a Schwarzschild-Couder 光学系を用いた CTA 小・中口径望遠鏡の開発 奥村暁(名古屋大学)	9月11日(月) 午前・C会場	
10:42	V337a ALPACA 実験 2: ALPAQUITA 進捗状況 大西宗博(東京大学)	12:06	W114b 一般相対論的多次元ボルツマン輻射 磁気流体コードの開発 朝比奈雄太(国立天文台)
10:54	V338a 重力波同期 X 線突発天体探査計画 Kanazawa-SAT <sup>3</sup> 澤野達哉(金沢大学)	9月11日(月) 午後・C会場	
11:06	V339a Kanazawa-SAT <sup>3</sup> 搭載広視野 X 線撮像 検出器のバースト判定システムの開発 太田海一(金沢大学)	14:30	W101a X線新星 MAXI J1807+132 の発見と Cyg X-1 の準ソフト状態への状態遷移 の検出 --MAXI/GSC が検出した 2017 年度前半の突発現象-- 根来均(日本大学)
11:18	V340b Kanazawa-SAT <sup>3</sup> 搭載 X 線撮像検出器 プロトタイプモデルの性能評価 吉田和輝(金沢大学)	14:42	W102a ブラックホール連星 MAXI J1659-152 の準周期的振動とスペクトルの相関 早川亮大(首都大学東京)
11:18	V341b Kanazawa-SAT <sup>3</sup> 搭載に向けた X 線撮像 検出器 T-LEX のデータ処理系の設計 加川保昭(金沢大学)	14:54	W103a MAXI による X 線新星 MAXI J1807+132 の発見と X 線・可視光に よる追観測 志達めぐみ(理化学研究所)
11:18	V342b CTA 大口径望遠鏡初号機カメラの建 設状況 平子文(京都大学)	15:06	W104a State Transitions of GRS 1739-278 During the 2014 Outburst Sili Wang (Tokyo Institute of Technology)
9月12日(火) 午後・I会場		15:18	W105a スパース推定を用いた V404 Cyg の可 視光・X 線ラグ解析 森井幹雄(統計数理研究所)
13:00	V343a X 線天文衛星代替機 (XARM) 計画の 現状 田代信(宇宙航空研究開発機構/埼玉大学)	15:30	W106a 銀河系内孤立ブラックホールが X 線突 発現象を駆動している可能性 松本達矢(京都大学)
13:12	V344a X 線天文衛星代替機 (XARM) 搭載の 軟 X 線分光器 Resolve の検討状況 石崎欣尚(首都大学東京)	15:42	W107a NuSTAR 衛星による降着駆動型パル サー 4U 1626-67 の観測 (2) 岩切涉(理化学研究所)
13:24	V345a X 線天文衛星代替機 (XARM) 搭載の 軟 X 線撮像装置の検討状況 林田清(大阪大学)	15:54	W108a 単独中性子星 XDINS の X 線スペク トルにおける keV-X 線超過成分の探索 米山友景(大阪大学)
13:36	V346a X 線天文衛星 Athena 計画 松本浩典(大阪大学)	16:06	W109a X 線衛星「すざく」を用いたガンマ線 連星 LS5039 の X 線パルス探索 松元崇弘(東京大学)
		16:18	W110a 中性子星 ULX における光度=軌道周 期関係 鷹野重之(九州産業大学)



16:30	W111b 全天 X 線監視装置 MAXI のデータを用いた X 線短時間変動解析の改良 川瀬智史 ( 日本大学 )	10:42	W124a デカメータ電波パルス観測に基づく我が銀河系中心の巨大バイナリーブラックホールの発見 大家寛 ( 東北大学 )
16:30	W112b 全天 X 線監視装置 MAXI のアーカイブデータを用いた LMC 領域の解析 下向怜歩 ( 東京大学 / 宇宙航空研究開発機構 )	10:54	W125a 位置天文衛星 Gaia で発見できるブラックホールの質量分布 山口正輝 ( 東京大学 )
16:30	W113b 中性子星への超臨界降着は可能か？ 高橋博之 ( 国立天文台 )	11:06	W126a 中性子星の配置による軟 X 偏光に対する効果 矢田部彰宏 ( 早稲田大学 )
	W115c ULX と ULS の統合モデル 小川拓未 ( 京都大学 )	11:18	W127a マグネターコアの磁場構造 藤澤幸太郎 ( 早稲田大学 )
	W116c カラー超伝導のペアリングと高密度星の熱的進化 野田常雄 ( 久留米工業大学 )	9 月 12 日 ( 火 ) 午後・C 会場	
	W117c 超大質量星が重力崩壊した後に形成される BH-トーラス系の非軸対称な変形に対する不安定性についての研究 打田晴輝 ( 京都大学 )	13:00	W128a 超臨界降着流のスペクトルの振る舞いと硬 X 線の起源 北木孝明 ( 京都大学 )
9 月 12 日 ( 火 ) 午前・C 会場		13:12	W129a 観測的可視化のための一般相対論的輻射輸送コードの開発 川島朋尚 ( 国立天文台 )
09:30	W118a 輻射圧駆動相対論的球対称風 福江純 ( 大阪教育大学 )	13:24	W130a 一般相対論的輻射磁気流体計算による中性子星への超臨界降着とアウトフロー形成機構 高橋博之 ( 国立天文台 )
09:42	W119a 輻射圧駆動降着円盤風における相対論的輻射輸送 竹田奈央 ( 大阪教育大学 )	13:36	W131a ブラックホール降着円盤からの二温度ジェット伝搬計算 大村匠 ( 九州大学 )
09:54	W120a 有限平面光源に照らされた運動する層雲の終端速度 土居優介 ( 大阪教育大学 )	13:48	W132a 超臨界降着流における円盤コロナモデル 川中宣太 ( 京都大学 )
10:06	W121a 多次元効果を考慮したブラックホールの超臨界成長・アウトフロー 竹尾英俊 ( 京都大学 )	14:00	W133a 光学的に薄いシンクロトロン放射冷却を考慮した磁気リコネクション過程 竹重聡史 ( 京都大学 )
10:18	W122a 超臨界降着円盤から吹き出すクランピーアウトフローの 3 次元輻射流体シミュレーション 小林弘 ( 総合研究大学院大学 )	14:12	W134a ブラックホールの自転と 2 成分プラズマ流による外向きの電磁エネルギー流の生成と消滅 小嶋康史 ( 広島大学 )
10:30	W123a 銀河系中心大質量ブラックホール SgrA* の 350 GHz 帯短期強度変動 三好真 ( 国立天文台 )	14:24	W135a ブラックホール回転エネルギーのフォースフリー磁場による引抜きの数値計算 小出眞路 ( 熊本大学 )

## W2. コンパクト天体

14:36	W136a W50 東端の Faraday Tomography による磁場構造解析 酒見はる香 (九州大学)	9 月 11 日 (月) 午前・C 会場	10:30	W201a 矮新星 GK Persei の X 線スペクトル解析による白色矮星質量の推定 和田有希 (東京大学 / 理化学研究所)
9 月 13 日 (水) 午前・C 会場			10:42	W202a ブラックホールによる白色矮星の潮汐破壊現象の多様性 川名好史朗 (東京大学)
09:30	W137a 連星中性子星合体からの重力波で探る高密度状態方程式 木内建太 (京都大学)		10:54	W203a 高速電波バースト分散度分布の作り方 新納悠 (国立天文台)
09:42	W138a 連星中性子星の質量分布に基づく合体時放出物質の平均的性質 関口雄一郎 (東邦大学)		11:06	W204a 非一様媒質中を伝播する相対論的衝撃波での磁場増幅過程 富田沙羅 (青山学院大学)
09:54	W139a 中性子星連星合体後の粘性による質量放出 藤林翔 (京都大学)		11:18	W205a 多波長解析で迫るガンマ線バーストの $E_{peak}$ 多様性の要因 勝倉大輔 (埼玉大学)
10:06	W140a 初代星起源コンパクト連星からの重力波とその特徴 衣川智弥 (東京大学)		11:30	W206a 三次元相対論的流体シミュレーションから明らかにする米徳関係の起源 伊藤裕貴 (理化学研究所)
10:18	W141a r-process 元素の不透明度と連星中性子星合体からの可視光・赤外線放射 田中雅臣 (国立天文台)		11:42	W207a Very Long FRED GRB 060814B のスペクトル時間発展 杉田聡司 (東京工業大学)
10:30	W142a 連星中性子星合体における shock breakout に伴う中性子の放出と電磁波放射 石井彩子 (東京大学)		11:54	W208a X 線天文衛星「すざく」搭載広帯域全天モニター WAM 単独での位置決定法を用いた FRED GRB の解析 小高勝也 (埼玉大学)
10:42	W143a 中性子星連星の合体は宇宙線中の超重元素の起源か? 小宮悠 (東京大学)			
10:54	W144a コンパクト天体を含む 4 体系の相対論的軌道安定性 鈴木遼 (早稲田大学)			
11:06	W145a 三重星におけるブラックホール降着円盤に関する流体計算 兼松慎一郎 (東北大学)			

## X. 銀河形成

9月11日(月) 午前・J会場		9月11日(月) 午後・J会場	
10:30	X01a Surface density: a new parameter in the fundamental metallicity relation of star-forming galaxies 橋本哲也(国立清華大学)	14:30	X13a 渦状腕の重力不安定理論 I: 不安定性パラメータと分裂不安定条件 井上茂樹(東京大学)
10:42	X02a 円盤星の金属量分布と銀河系形成におけるガスの再降着過程の重要性 豊内大輔(京都大学)	14:42	X14b 渦状腕の重力不安定理論 II: 渦状腕分裂によるクランプ形成 井上茂樹(東京大学)
10:54	X03a Far UV フィードバックの銀河の形成と進化への影響 斎藤貴之(東京工業大学)	14:42	X15b Dynamics of a compact relic galaxy at $z=0.5$ explored by optical integral field spectroscopy with Subaru/Kyoto 3DII + AO188 満田和真(東京大学)
11:06	X04a 銀河形成シミュレーションによる星形成銀河の星形成率とガス流入・流出率 岡本崇(北海道大学)	14:42	X16b $z_{phot} \leq 1.0$ における銀河の軸比分布とその進化 佐藤佑樹(愛媛大学)
11:18	X05a 宇宙論的流体計算による銀河 cold flow の feedback と密度環境への依存性 中村亮介(大阪大学)	14:54	X17a Blue Horizontal-Branch 星に基づく銀河系恒星ハローの構造の解明 福島徹也(東北大学)
11:30	X06a レンズクエーサーを用いた多視線分光観測による CGM の内部構造の調査 小山田涼香(信州大学)	15:06	X18a $z=2.5$ の銀河で発見された高速回転するスターバーストコア 但木謙一(Max Planck Institute for Extraterrestrial Physics/ 国立天文台)
11:42	X07b SDSS データで決定する銀河とアウトフローの物理量の相関関係 菅原悠馬(東京大学)	15:18	X19a すばる AO 近赤外線撮像による、 $z=4$ までの大質量早期型銀河のサイズ進化 久保真理子(国立天文台)
11:42	X08b 化学進化からみる銀河のガスの流入の質量依存性 深川奈桜(総合研究大学院大学)	15:30	X20a 矮小銀河ダークマターハローの普遍的性質 林航平(北京大学 / 東京大学)
11:42	X09b バルジが卓越した $z \sim 1$ の銀河の星形成効率 村田一心(宇宙航空研究開発機構)	15:42	X21a 主成分分析を用いた矮小銀河サイズのダークマターサブハローの性質解析 金城和樹(千葉大学)
11:54	X10a 近傍銀河における星形成活動と分子ガス存在量の関係の環境依存性調査 小山舜平(東京工業大学 / 宇宙航空研究開発機構)	15:54	X22a 合体シミュレーションによる小スケールハローの内部構造の進化 佐々木拓洋(千葉大学)
12:06	X11a HI & H <sub>2</sub> gas properties of $\sim 80$ Virgo galaxies on the phase-space diagram 諸隈佳菜(宇宙航空研究開発機構)	16:06	X23a Stellar to Halo Mass Ratio and Baryon Conversion Efficiency of LAEs at $z \sim 2$ 日下部晴香(東京大学)
12:18	X12a すばる HSC の銀河カタログを用いた $z=0.5-1.5$ における銀河-ガス関係の探索 野沢朋広(東京大学)	16:18	X24a The Galaxy-Halo Connection in High-redshift Universe 石川将吾(国立天文台)

## X. 銀河形成

9月12日(火) 午前・J会場		9月12日(火) 午後・J会場	
09:30	X25a 超重ブラックホールの形成と銀河形成 森川雅博(お茶の水女子大学)	11:18	X37b 大質量星からの輻射圧による低金属 度星形成雲からのダスト排出の可能 性について 福島肇(京都大学)
09:42	X26a 銀河のダウンサイジング ーブラック ホールが先にできるとー 中道晶香(京都産業大学)	11:18	X38b COSMOS 領域における $z=0.2-1.1$ の 銀河の性質とクラスタリングの関係 坂東卓弥(愛媛大学)
09:54	X27a マージャープロセスにおけるブラック ホールへの質量降着 川口雄大(鹿児島大学)		
10:06	X28a ダストに覆われた巨大ブラックホール の成長過程 矢島秀伸(東北大学)	13:00	X39a No Ly $\alpha$ emitters detected around a QSO at $z=6.4$ : Suppressed by the QSO? Tomotsugu Goto (National Tsing Hua University)
10:18	X29a 北黄極ディープサーベイ領域の Dust Obscured Galaxies は活動的銀河核と 共進化中のスターバーストか? 松原英雄(宇宙航空研究開発機構)	13:12	X40a すばる HSC-SSP と FIRST 電波サー ベイによる遠方電波銀河の調査 山下拓時(愛媛大学)
10:30	X30a すばる望遠鏡 Hyper Suprime-Cam を用いた中間赤外線で見える Dust- Obscured Galaxies の可視光線の性質 の調査 登口暁(愛媛大学)	13:24	X41a AzTEC 1.1mm による Ly $\alpha$ Blob 周辺 領域の原始銀河団探査 斎藤智樹(兵庫県立大学)
10:42	X31a “radio mode” AGN feedback が銀河の 速度分散と年齢の関係に与える影響 白方光(北海道大学)	13:36	X42a HSC を用いた宇宙再電離と高赤方偏 移銀河団の探査 樋口諒(東京大学)
10:54	X32a HSC サーベイによる 赤方偏移 0.6-3.0 における AGN 周辺銀河の特性 白崎裕治(国立天文台)	13:48	X43a HSC-SSP の PDR1 データによる赤方 偏移 $z < 1.5$ の輝線銀河探査 林将央(国立天文台)
11:06	X33b 非等方輻射フィードバック下における 超巨大ブラックホールへの dusty gas の降着 豊内大輔(京都大学)	14:00	X44a Properties of extremely strong emission line galaxies discovered with Subaru/HSC Kiyoto Yabe (The University of Tokyo)
11:06	X34b 定量的指標による COSMOS 領域の $z=0.7-0.9$ の相互作用・合体銀河探査 樋本一晴(愛媛大学)	14:12	X45a COSMOS 領域における中間赤方偏移 EELGs の環境効果及びクラスタリング 特性 西塚拓馬(東北大学)
11:06	X35b $z=2.84$ の超高光度クエーサー周辺で の銀河形成 菊田智史(総合研究大学院大学/国 立天文台)	14:24	X46b El Gordo 銀河団にはたらく強い重力レ ンズ効果の解析およびドロップアウト 銀河の星形成活動 菊地原正太郎(東京大学)
11:18	X36b Black hole mass measurements of $z \sim 6$ low-luminosity quasars 尾上匡房(総合研究大学院大学)	14:24	X47b AzTEC で検出された COSMOS 領域に おけるサブミリ波銀河の ALMA 1.3mm 帯データを用いたミリ波輝線銀河探査 山下祐依(東京大学)

14:24	X48b	Phoenix 銀河団における ALMA 3mm 帯データを使ったミリ波輝線銀河探査 李建鋒 (東京大学)	10:42	X59a	Lagrange 的手法を用いたシミュレーションにおける resolution 制限 山本泰義 (北海道大学)
14:36	X49b	COSMOS 領域における low-redshift 強輝線天体サーベイ 平野洸 (東北大学)	10:54	X60a	大規模宇宙論的 $N$ 体シミュレーション・データベースの公開 石山智明 (千葉大学)
14:36	X50b	Rest-frame optical emission lines of $z > 4$ galaxies with Subaru/HSC and SPLASH 播金優一 (東京大学)	11:06	X61a	四重極項計算の SIMD 化によるツリー法の高速化 児玉哲史 (千葉大学)
14:36	X51b	The MUSE Hubble Ultra Deep Field Survey: Ly $\alpha$ Equivalent Widths at $2.9 < z < 6.6$ 橋本拓也 (リオン天文台 / 大阪産業大学 / 国立天文台)	11:18	X62a	クエーサーおよび大質量星による宇宙再電離と高速電波バーストの分散測定 井上進 (理化学研究所)
14:48	X52a	直接温度法で解明する Ly $\alpha$ 輝線銀河の高電離状態 小島崇史 (東京大学)	9 月 13 日 (水) 午後・J 会場		
9 月 13 日 (水) 午前・J 会場			13:30	X63a	Impact of Star Formation and Stellar Feedback on First Galaxies and beyond 長峯健太郎 (大阪大学)
09:30	X53a	Dust Grain Growth Explains Huge Dust Mass in Galaxies at $z = 7 - 8?$ 竹内努 (名古屋大学)	13:42	X64a	SPH 粒子データを直接用いた Lyman-alpha 輻射輸送計算コードの開発 安部牧人 (筑波大学)
09:42	X54a	ALMA による赤方偏移 $z \approx 8.4$ のライマンブレイク銀河のダスト検出 田村陽一 (名古屋大学)	13:54	X65a	初代銀河の衝突で誘起されるガス雲形成 荒田翔平 (大阪大学)
09:54	X55a	アルマ望遠鏡による $z = 3$ 巨大水素ガス天体のサブミリ連続波観測 松田有一 (国立天文台)	14:06	X66a	低赤方偏移銀河間物質の観測による初代星起源金属汚染の検出可能性 桐原崇亘 (筑波大学)
10:06	X56a	星間塵のサイズ分布進化を考慮した銀河スペクトルエネルギー分布モデルの構築 西田和樹 (名古屋大学)	14:18	X67a	宇宙再電離期 21cm 線と LAE 相互相関に対する前景放射の影響 吉浦伸太郎 (熊本大学)
10:18	X57a	星形成領域における photoelectric grain heating の影響 一色翔平 (北海道大学)			
10:30	X58a	シミュレーションにおける星質量による順位が変化しないと仮定したときの銀河進化と実際の進化について 畑千香子 (北海道大学)			



## Y. 天文教育・その他

9月12日(火) 午後・A会場		14:48	Y13b	天体観測実習を含む有人宇宙活動のための総合科学教育プログラムの試み 水村好貴(京都大学)	
13:36	Y01a	プラネタリー・ディフェンスの国際動向と日本における活動について 吉川真(宇宙航空研究開発機構)	Y14c	$N_2H^+$ 分子輝線の解析の学部生向け教材の開発 広瀬亜紗(東京学芸大学)	
13:48	Y02a	地球衝突天体を発見した時、我々はどうのように対応すべきか 浦川聖太郎(日本スペースガード協会)	Y15c	Mitakaを活用した天文教育用簡易ドーム投影システムの開発 福田尚也(岡山理科大学)	
14:00	Y03a	1956年の滋賀オーロラ目撃報道と山本一清の対応 玉澤春史(京都大学)	Y16c	高感度デジタルカメラの連続撮影による流星と流星痕観測 戸田雅之(チーム流星痕/日本流星研究会)	
14:12	Y04a	大正末期の建築指図に描かれた緯度観測所の建造物 馬場幸栄(国立民族学博物館)	Y17c	高校生によるゼロからの太陽電波観測 篠原徳之(国立天文台)	
14:24	Y05b	天文学は私たちの文化、天文学のアウトリーチ用の星景写真集の制作I 大西浩次(長野工業高等専門学校)	9月13日(水) 午前・A会場		
14:24	Y06b	「太陽系の旅 銀河系の回転と地質年代」の教材開発 下井倉ともみ(東京学芸大学)	09:30	Y18a	アクロマート屈折望遠鏡で超色消し画像を得る試み(その2) 竹内彰継(米子工業高等専門学校)
14:24	Y07b	小学校の授業で天体望遠鏡を使おう! 初心者によくあるトラブルと対策 土橋一仁(東京学芸大学)	09:42	Y19a	太陽観測衛星ひのでが観測した水星太陽面通過画像を利用した実習教材 矢治健太郎(国立天文台)
14:36	Y08b	教育学部大学生及び現職教員を対象にしたGIGASTARによる天体望遠鏡実習 内山秀樹(静岡大学)	09:54	Y20a	津山高専の公開講座を活用した天文教育 佐々井祐二(津山工業高等専門学校)
14:36	Y09b	全国の大学生を対象とした天文分野の理解度・意識の継続調査:理解度を高める要因は何か? 大朝由美子(埼玉大学)	10:06	Y21a	高等学校「課題研究」における天文教育の実践 石田光宏(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)
14:36	Y10b	埼玉大学における中・高校生への天文学の研究体験指導 小田達功(埼玉大学)	10:18	Y22a	Twitterを用いたすばる望遠鏡観測「実況」の試み 藤原英明(国立天文台)
14:48	Y11b	全天モニタ画像座標較正 Web サービスの改良 小澤友彦(紀美野町文化センター)	10:30	Y23a	Mitakaにおける科学的可視化について 加藤恒彦(国立天文台)
14:48	Y12b	国立科学博物館所蔵太陽黒点スケッチのデジタル化と公開 洞口俊博(国立科学博物館)	10:42	Y24a	「一家に1台 天体望遠鏡」計画 - 「君もガリレオ!」プロジェクト・エピソード2 - 縣秀彦(国立天文台)

2017年8月20日発行

年会実行委員会

委員長	寺田幸功	(埼玉大学)
委員	石川遼子	(国立天文台)
	酒井剛	(電気通信大学)
	鈴木知治	(中部大学)
	鈴木竜二	(国立天文台)
	永井洋	(国立天文台)
	成田憲保	(東京大学)
	諸隈智貴	(東京大学)
	安井千香子	(国立天文台)
	町田真美	(九州大学) 保育室担当

年会開催地理事

徂徠和夫 (北海道大学)